

---

**令和4年度**  
**皮革及び革靴産業基盤強化特別振興事業**  
**(国内外情報収集) 報告書**

**～国産皮革需要拡大に向けた流通調査～**

**令和5年3月**

**一般社団法人 日本皮革産業連合会**  
**一般社団法人 日本タンナーズ協会**

---



# 調査要項・目的

---

## 1. 調査目的

現在の市場における日本産革の需要拡大とその可能性を高めることを目的として実施した昨年度の調査結果から、対外的な国産皮革に関する情報発信が不可欠であることが明らかとなっている。その課題に対応すべく、本年度は、国産皮革に関する情報を国内外のメーカーに強く発信するための基礎資料・データを作成するために、国産皮革の情報及び内容を整理し、国産皮革及び川上に位置する国内タンナーの情報を収集しながら分析を行ない、その情報をもとに日本革データベースを作成する。国産皮革を活用した革製品の新たなビジネスモデルの可能性を探ると共に、新たな販路の可能性を探ることを目的とする。

## 2. 調査期間

2022年5月1日～2023年3月15日

## 3. 調査担当

クルーシャルモーメント株式会社

# 目次

<b>1. 企業ヒアリング調査</b>	<b>5</b>
■ 調査概要	
① マドラス株式会社	7
② 柏木工株式会社	9
③ 株式会社AJIOKA	11
<b>2. 日本革データベース・アンケート集計</b>	<b>13</b>
■ 調査概要	14
① 取引形態	15
② 扱っている生産革種	16
③ なめし方法	17
④ 原材料（原皮・ウェットブルー・クラスト等）の調達国	18
⑤ 原材料（原皮・ウェットブルー・クラスト等）の仕入れ先	19
⑥ 主な生産用途	20
⑦ 主な取引先（販売先）	21
⑧ 生産革の特徴について	22
⑨ 出展している展示会・イベントについて	24
⑩ 情報発信手段について	25
⑪ 取得している認証制度について	26
⑫ タンナー各社のその他特徴について	27

# 目次

---

<b>3. 日本革データベース・内容</b>	<b>.....33</b>
①掲載企業リスト	.....34
②データベース内容	.....40
<b>4. 提言・プレスリリース</b>	<b>.....63</b>
①提言	.....64
<b>5. 附表</b>	<b>.....67</b>
①アンケート票	.....68

---

# 1. 企業ヒアリング調査

# 1. 企業ヒアリング調査：調査概要

## ■ 企業ヒアリング調査概要

● **調査期間**：2022年8月18日～2022年9月5日

● **直接ヒアリング調査対象企業**：全3社

日本革データベース作成において、データベースの内容、及び使いやすさ、製品メーカーがタンナーに求めるもの等、事前に必要な情報を得るために、以下の3社を対象に直接ヒアリング調査を実施した。

＜事前ヒアリング調査訪問企業＞

- ◆ マドラス株式会社（紳士靴メーカー）
- ◆ 柏木工株式会社（インテリア製品メーカー）
- ◆ 株式会社AJIOKA（バッグ・革小物メーカー）

● **訪問メンバー**

・マドラス株式会社・柏木工株式会社訪問（2022年8月18日-8月19日）

株式会社山陽 大越氏

オールマイティ 水瀬氏

日本タンナーズ協会 池口氏

クルーシャルモーメント株式会社 池内

・株式会社AJIOKA訪問（2022年9月5日）

有限会社T.M.Y's 代表取締役 渡邊氏

株式会社スズキ 代表取締役 鈴木氏

クルーシャルモーメント株式会社 池内

# 1. 企業ヒアリング調査： ①マドラス株式会社（紳士靴メーカー）

## 1. 会社概要

本社所在地：愛知県名古屋市中区栄二丁目15-6

訪問地：愛知県丹羽郡大口町上小口1-753（本社工場）

ご対応：商品部部長 石川氏

本社工場長 大川氏

本社工場 製造課 渡邊氏

日本の紳士靴メーカーの有力企業。海外生産6割、日本企画商品4割の状況。但し純日本生産は7%程度に止まる。販売は百貨店、専門店卸が多いが、近年は直営店販売を強化している。

## 2. 革製品生産状況

生産している靴は大部分が天然革製品。一部合皮製品や合繊製品がある。現状では天然革製品は人工皮革製品と比べて需要がやや負けている。

## 3. ユーザーのニーズについて

ユーザーの紳士靴へのニーズとしてはまず「軽さ」。ただそれに対応しようとすると、革そのものよりも底材が問題。軽くしようとすると底材がチープになるため、難しい。使用率が高く、風合いの良い、きめの細かい天然革、柔らかい手触り感がある革。機能性としては抗ウイルス製品などの動きはまずまずである。その他通気性、耐水性、耐久性、褪色性などが望まれている。サステナビリティ、アニマルフリーといったムードは、まだユーザーへの影響は感じられない。実際、生産側もそれ用に作るとなると工場のキャパが足りていない。





# 1. 企業ヒアリング調査： ①マドラス株式会社（紳士靴メーカー）

## 4. 革調達状況・日本タンナーとの接点について

現在最も多い仕入れルートは、生産が多いカンボジア経由でアルゼンチンの革を使用している。そこは安さもそうであるが、予想以上に納期や傷なども少ない。その他、中国、イタリア、バングラディッシュなどがある。日本革の使用率は10%程度。使用した後に取引上問題はないところは、後々の取り引きは継続できている。

日本の主要取引先は卸問屋が多い。ただ、問屋はサンプル対応までなかなかやってくれない点は不満があった。過去にタンナーさんと直接相談したことはあるが、ディスカッションがうまくできなかった。革を作るまではいくが、製品にしてみると少し感じが違う。その後の交渉が続かない。また日本のタンナーとの取引は現金商売であるため少し厳しい。我々がまず日本のタンナーのことはよく分っていない。どのようなタンナーがあるのかもよく知らない。知っているタンナーは5, 6社程度である。また我々にとってはミニマムの問題がまだまだ大きい。姫路の革は婦人、カジュアル用途が多いため、紳士用ドレスシューズには扱いにくい印象もある。

## 5. 日本革データベースについての意見

- ・オーダー対応ができるか = オーダーの程度を図る質問は可能か
- ・原皮の調達先（地域）
- ・ジビエ対応をしているか
- ・特殊性が欲しい
- ・サステナビリティ対応 = 消費者にわかりやすいところよい。リサイクルなど
- ・最終用途の製品の写真（メーカーが分からなくても）があればよい
- ・サンプル対応が可能かどうか

## 6. その他特記事項

メイドインジャパンは国内ユーザーにはあまり響かないが、輸出品としては効果はある。サステナビリティ、アニマルフリーといったムードは、まだユーザーへの影響は感じられない。実際、生産側もそれ用に作るとなると工場のキャパが足りていない。またLWGは加盟はしているがまだメリットは感じられない。JLBタグも知っているが、現状使っていない。

# 1. 企業ヒアリング調査：② 柏木工株式会社(インテリア製品メーカー)

## 1. 会社概要

本社所在地（訪問地）：岐阜県高山市上岡本町1-260

ご対応：企画部企画開発課課長 倉地氏

企画部企画開発課課長 桂氏

国産インテリアメーカーの有力企業。インテリア業界としては、コロナ禍で巣ごもり需要の恩恵を受けて半数強のメーカーが業績がアップした。自社としてはさらに高額品展開の強化を狙っており、今使っている革よりもさらに上質な革（オイルレザーなど）を使った製品を企画している。

## 2. 革製品生産状況

革製品の扱いは全体の10%程度。革製品の需要はそれほど大きくは変化していない。合皮に関しては現在のところ、本革の需要が合皮に変わっているという印象はないが、見た目が同じであれば合皮でも良いというユーザーはいる。価格差でおおよそ1.5倍の差が出るので、ユーザーにとってそのインパクトは大きい。

## 3. ユーザーのニーズについて

革のインテリア商品を購入するユーザーは、店に来てから本革と合皮、革と布地を比較して購入しているわけではなく、最初から革製品を探しに来ている。若年層ユーザーは何よりも価格が最優先。逆に革好きのユーザーはかなりこだわりを見せる。あら探しのようなこともするし、無理な要望も多い。



# 1. 企業ヒアリング調査：② 柏木工株式会社(インテリア製品メーカー)

## 4. 革調達状況・日本タンナーとの接点について

海外の革はあまり意識したことがなく、海外からの調達も今はない。現状、長野や山形のタンナーから直仕入れをしている。姫路や関東のタンナーとのお付き合いは現在はない。一度、東京レザーフェアから姫路のタンナーと取引の話に繋がったことはあったが、その後のやり取りでうまくいかず、取引に至らなかった経緯がある。

残念ながら、我々はまだまだ革に対する知識が不足していると思っている。情報を得るために、2年に一度くらいは東京レザーフェアには顔を出しているが、東京レザーフェアにはインテリア用途は少ないのかという印象を持っている。

## 5. 日本革データベースについての意見

- ・革取引のポイントとしては品質の安定と量をまかなえるのか
- ・耐光性、褪色性（経年変化）に優れているか
- ・堅牢度がよいか
- ・取引先が分かればある程度のことかわかる→最も重要
- ・肉厚or肉薄が得意
- ・質感と使いやすさ（メンテナンスのしやすさ）や色落ちやシミになりやすいなどへの対応
- ・発注ロットについて（弊社ではおおよそ形式10枚単位）
- ・色種はあるか（弊社で使用するのは4種類くらいで、動いているのはほとんど黒）
- ・デリバリーはどうか（弊社では注文受けて1週間で製品にするのである程度在庫を持っているものが対象）

## 6. その他特記事項

クロムフリーとかサステイナブルのトレンドはインテリアの革に対して、ユーザーの反応にはまだ繋がっていない。布地においてはSDGS対応の布地を謳った生地メーカーが増えている。「LWG」などの表記は行なったことがない。まだそうした打ち出しはインテリアの場合、家具そのものが優先で、産地を打ち出した方がセールスポイントとなる。ただ家具の場合、住宅産業とも繋がりが強く、そちらの産業でSDGs等の動きが強まれば、インテリア業界もそのあたりに対応せざる得なくなる。

# 1. 企業ヒアリング調査：③株式会社AJIOKA（鞆・革小物メーカー）

## 1. 会社概要

本社所在地・訪問地：東京都中央区日本橋蛸殻町1-33-11

ご対応：商品部 生産管理部統括 窪田氏

日本の革小物メーカーの有力企業。自社ブランドをはじめ、国内外の有力ブランドの革製品を展開する。売上高構成：自社ブランド比率65%（2ブランドで60%強）、ライセンスブランド25%、その他10%の割合。

## 2. 革製品生産状況

基本的に生産は下請けメーカーに発注している。製品納期は原則として90日以内（革調達期間含めて）としている。

ブランドにもよるが、主力ブランドにおいては人工革は使っていない。天然革へのこだわりがある。いい素材を使うという基本的なポリシーがあるので、やはり使うのは天然革になってくる。現状は海外の著名ブランドが使っている革と同じ革を使うといったやり方が多くなっている。あらゆる革を見てよいと思う革を使っている。海外のピッティなどの展示会などにはよく顔を出す。そこで革の情報を取り寄せることが多い。

製品の国内生産に使っている革は海外革が多く、中国で生産している革は日本産の革が多い。

## 3. ユーザーのニーズについて

エンドユーザーは、ハッキリ言って革の良さがあまり分かっていない。牛革のカーフを使っていますと言っても反応はあまりない。同様にサスティナブル対応をしている製品であってもエンドユーザーの選択理由になっていない。



# 1. 企業ヒアリング調査：③株式会社AJIOKA（鞆・革小物メーカー）

## 4. 革調達状況・日本タンナーとの接点について

まず基本的に革素材の調達はデザイナー・MDが行なっている。革に関する情報は基本的に革問屋から得ている状況。実際の革調達も革問屋を通しての革の調達がほとんど。海外のタンナーと直でやり取りしたことがあったが、思うような仕上がりではなかった。その後も交渉したが、うまく意思疎通ができなかったこともあり、その後は行っていない。日本のタンナーさんとの接点はほとんどない。また問屋との取引がほとんどであるもう一つの理由は、製品が上がってからのやり取り（クレーム等含め）も多いことがある。認識として革問屋が在庫リスクを背負ってやっていると思っていた。

革製品における天然革使用比率は99%。うち日本革は60%程度。ただ日本革の使用比率は減少傾向。日本革以外はイタリア、イギリス、アメリカ、ドイツといった国の革を使っている。以前は中国の革も扱いが多かったが、安定性に欠けるために使うのを止めた。イタリアなどはカラーバリエーションを持った在庫展開をしているので、特にレディース商品に関してはカラーバリエーションが必要になるため、重宝している。

## 5. 日本革データベースについての意見

- ・革に関する情報は基本的に革問屋から得ている状況。
- ・自社の個展をやっているかどうか、自社ショールームのような機能ももっていると有難い。
- ・タンナーとメーカーがコンタクトできるチャンネルがあればよい
- ・取引には弊社（AJIOKA）の支払条件（月末締め・翌々2日払い）を了承頂けるかどうか、もポイントとなる。
  - ・革種としては、牛革が主力であるが、今後様々な種類の革を使ってみたい。機能性としては、耐久性、褪色性、耐水性がある革、剥がれない箔、経年劣化しない革、エナメルなど。

## 6. その他特記事項

サステナビリティのトレンドの影響は、ユーザーからはあまり感じない。クロムフリーなどに対する考え方も同様。環境問題対応としては脱プラスチックに現状注力している。

---

## 2. 日本革データベース・アンケート集計

## 2. 日本革アンケート調査：調査概要

### ■ アンケート調査概要

- アンケート調査目的：日本革データベースへの掲載企業の企業内容を把握するため
- アンケート調査期間：2022年10月24日～2022年11月28日
- アンケート調査手法：日本タンナース協会・各支部へのアンケート調査表配布（留置法）
- アンケート回収結果：

①松原支部	34社	⑥川西支部	5社
②誉田支部	13社	⑦大阪支部	1社
③沢田支部	10社	⑧和歌山支部	7社
④高木支部	20社	⑨関東支部	35社
⑤御着支部	20社		
			<u>計145社</u>

# 2. 日本革データベース・アンケート集計

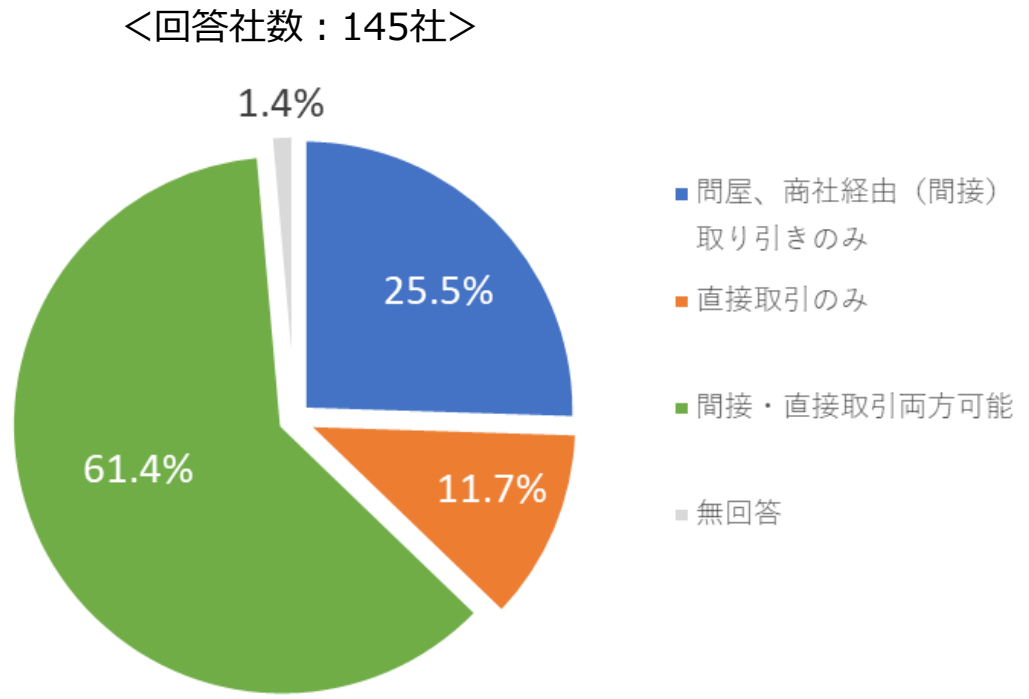
## ①取引形態について

Q.貴社の取引形態をお選びください。

- ①問屋、商社経由（間接）取り引きのみ
- ②直接取引のみ
- ③間接・直接取引両方可能

取引形態において、問屋、商社経由のみの事業を行なっているタンナーは全体の約4分の1。その他のタンナーは何らかの形で、直接取引を行なっている状態。

集計結果からは生産キャパシティが大きいタンナーほど、直接取引としているケースが多くなっている（生産キャパシティ50万デシ以上と回答した24社のうち20社が直接取引を行なっている）。





# 2. 日本革データベース・アンケート集計

## ②扱っている生産革種について

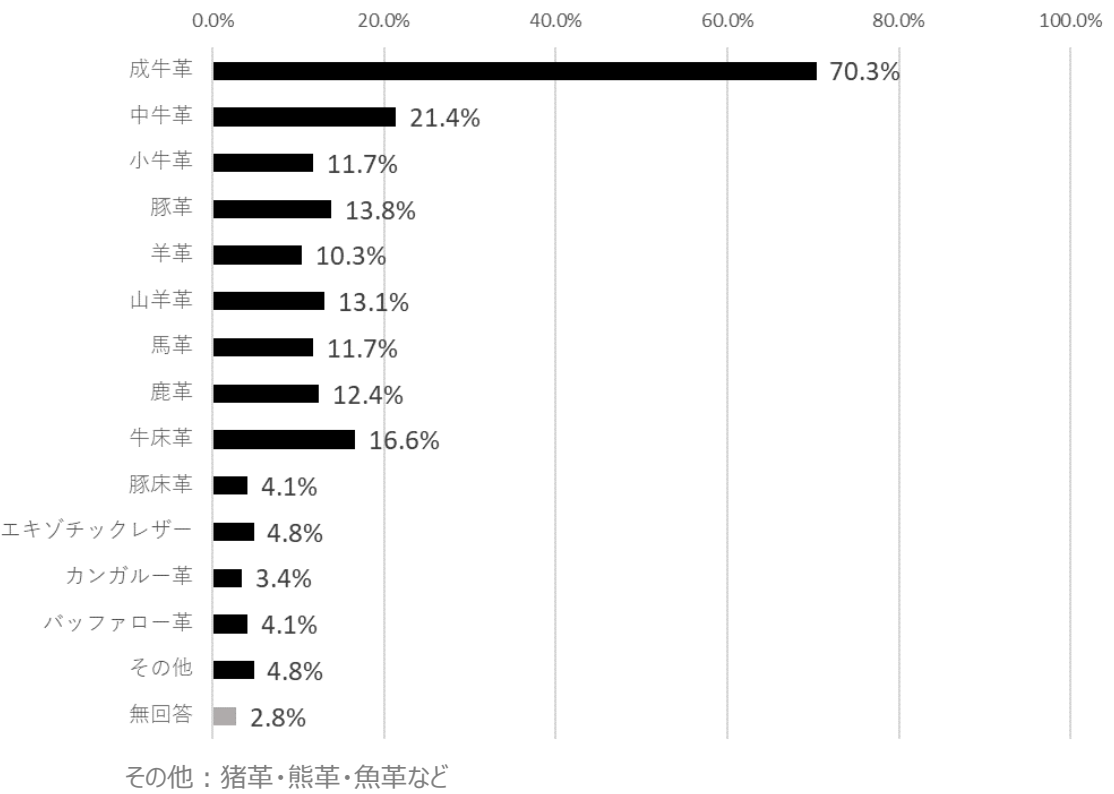
Q.貴社が扱っている生産革種について、花卉から扱っている革種を全てお選びください（複数回答可）

①成牛革    ②中牛革    ③小牛革    ④豚革    ⑤羊革  
 ⑥山羊革    ⑦馬革    ⑧鹿革    ⑨牛床革    ⑩豚床革  
 ⑪エキゾチックレザー    ⑫カンガルー革    ⑬バッファロー革    ⑭その他

<回答社数：140社> ※無回答5社

扱っている革種については、「成牛革」を扱っているタンナーは全体の70%強（102社）となり、他革種との差は歴然である。また「成牛革」しか扱っていないタンナーは40%弱（57社）もある結果となった。

次いで「中牛革」が21.4%（31社）、「牛床革」が16.6%（24社）となった。その他の革種は特殊な革を除き、おおよそ10%～15%程度のタンナーが扱っている。



# 2. 日本革データベース・アンケート集計

## ③ 鞣し方法について

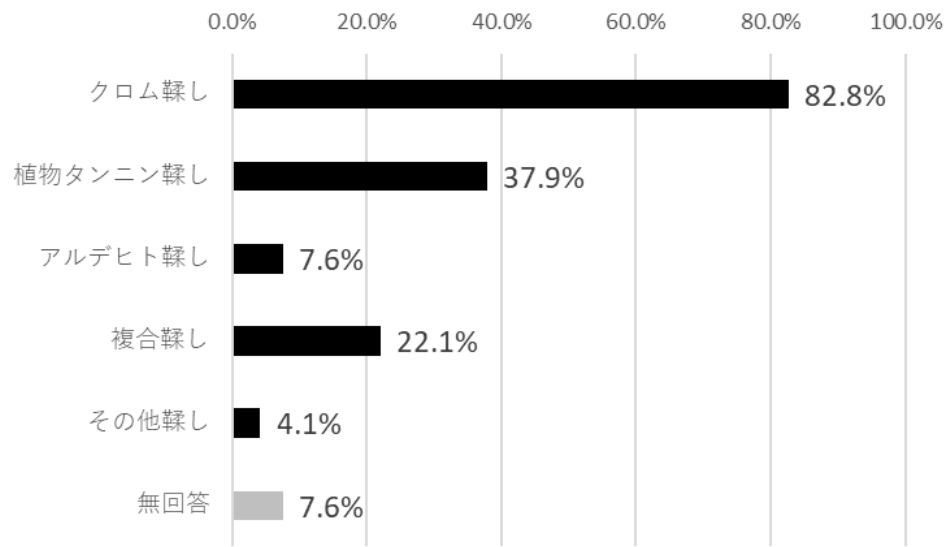
Q.貴社が行なっている鞣し方法について、行なっているもの全てを花卉からお選びください（複数回答可）

- ①クロムなめし
- ②植物タンニンなめし
- ③アルデヒトなめし
- ④複合なめし
- ⑤その他

各タンナーが行なっている鞣し方法について、「クロム鞣し」は全体の82.8%（120社）となり、逆に「クロム鞣し」を行なわず、それ以外の工法のみで鞣しを行なっているタンナーは17.2%（25社）存在しているという結果となった。

「植物タンニン鞣し」を行なっているタンナーは全体の37.9%（55社）という結果となった。

<回答社数：134社> ※無回答11社



その他鞣し：ゼオライト鞣し・厚鞣し・白鞣し・ホルマリン鞣し・米糠鞣し

# 2. 日本革データベース・アンケート集計

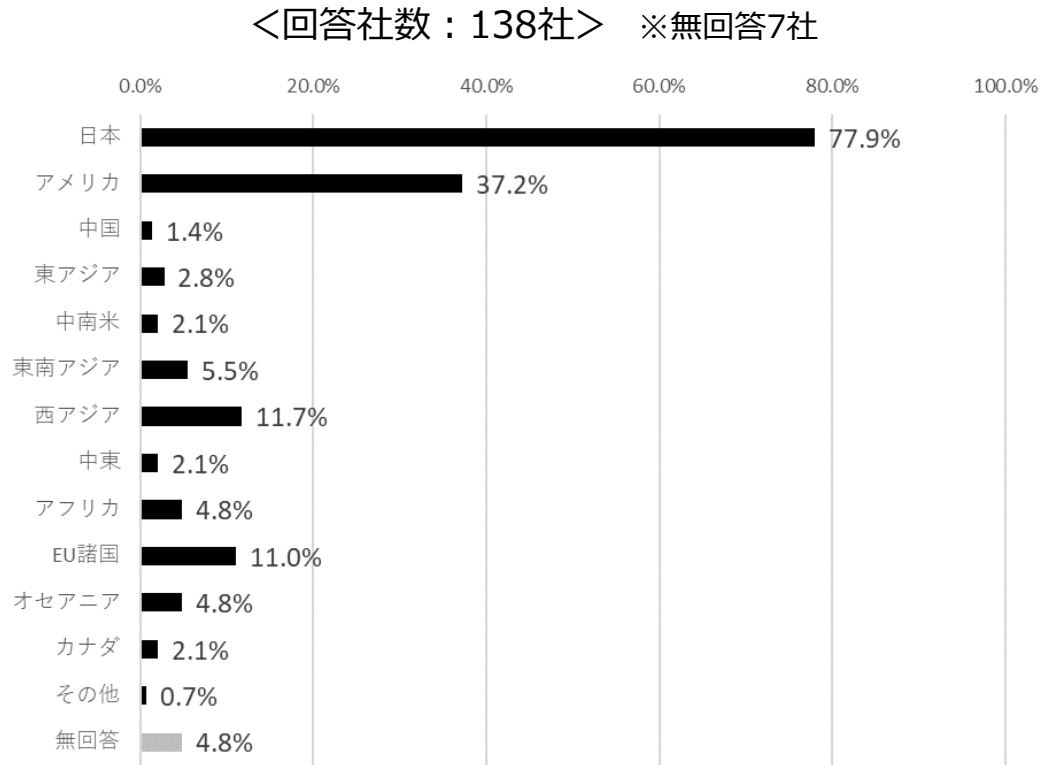
## ④原材料（原皮・ウェットブルー・クラスト等）の調達国について

Q. 貴社の原材料（原皮・WB・クラスト等）の調達国について、該当する国を下記から全てお選びください。  
 （複数回答可）

①日本            ②アメリカ            ③中国            ④東アジア            ⑤中南米  
 ⑥東南アジア    ⑦西アジア            ⑧中東            ⑨アフリカ            ⑩その他

なめし革の原材料の調達国について、「日本」と「アメリカ」の回答数が圧倒的となり、それぞれ77.9%（113社）、37.2%（54社）となった。

近年では西アジア（バングラディシュ・パキスタンなど）や東南アジア、アフリカからの調達も増えている。



その他国：パプアニューギニア  
 ※「EU諸国」「オセアニア」「カナダ」はその他回答の中から抜粋して集計したもの

# 2. 日本革データベース・アンケート集計

## ⑤原材料（原皮・ウェットブルー・クラスト等）の仕入れ先について

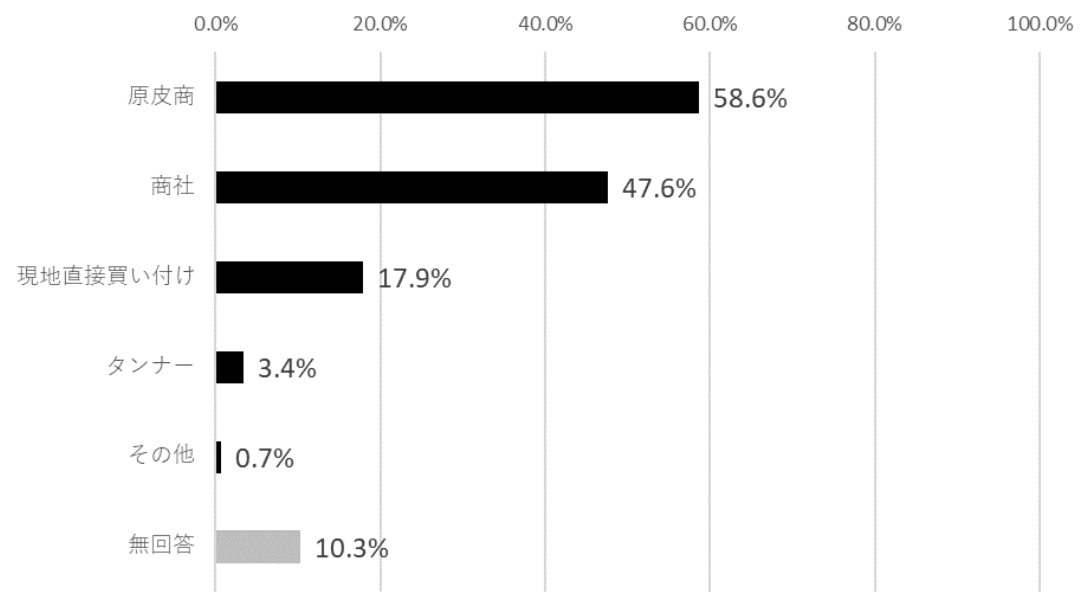
Q.貴社の原材料の仕入れ先について、該当する仕入れ先を全てお選びください。（複数回答可）

- ①原皮商
- ②商社
- ③現地直接買い付け
- ④その他

なめし革の原材料の仕入れ先について、「原皮商」58.6%（85社）、「商社」47.6%（69社）、そして「現地直接買い付け」が17.9%（26社）という結果となった。多くのタンナーが「原皮商」か「商社」のどちらかから仕入れている結果となった。

また「現地直接買い付け」に絞って行なっているタンナーは全体の8.3%（12社）となった。

<回答社数：130社> ※無回答15社



その他：獣害産地  
※「タンナー」はその他回答の中から抜粋して集計したもの

# 2. 日本革データベース・アンケート集計

## ⑥ 主な生産用途について

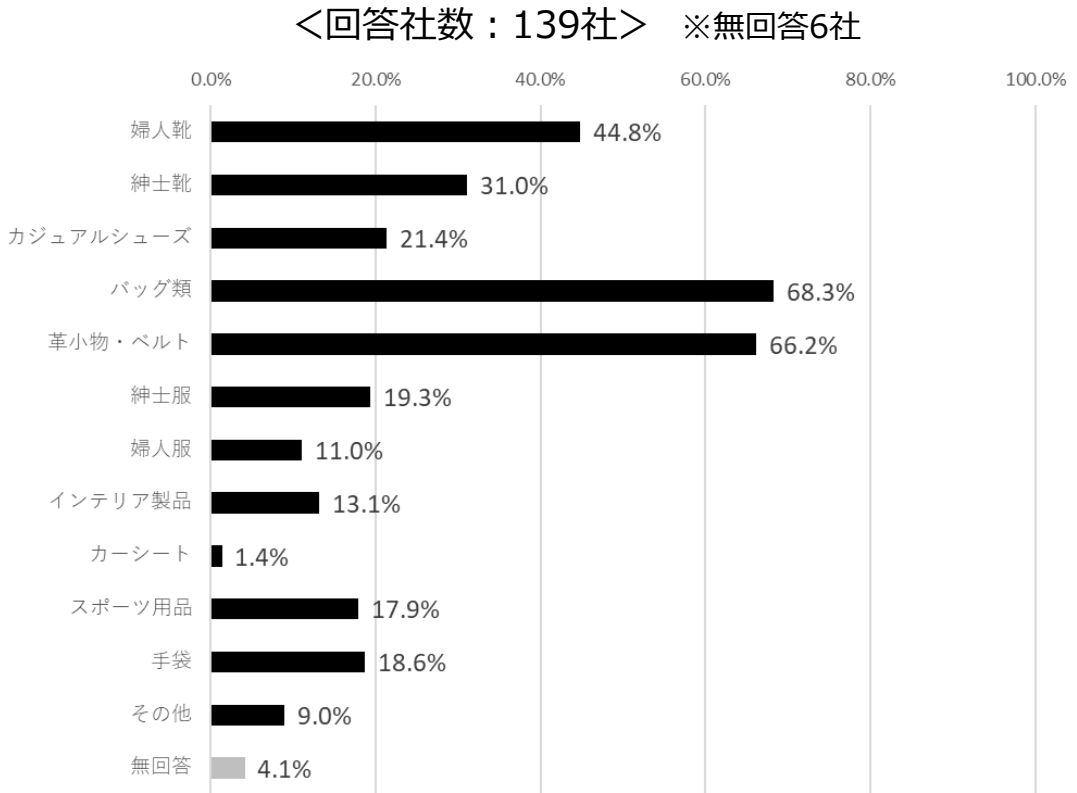
Q. 貴社が生産する革の主な製品用途について、該当するもの全てを下記からお選びください。（複数回答可）

① 婦人靴                      ② 紳士靴                      ③ カジュアルシューズ                      ④ バッグ類                      ⑤ 革小物  
 ⑥ 紳士服                      ⑦ 婦人服                      ⑧ インテリアチェア・ソファ                      ⑨ カーシート                      ⑩ スポーツ用品  
 ⑪ 手袋                      ⑫ その他

生産したなめし革の用途について、最も多い回答となったのが「バッグ類」で全体の68.3%（99社）で、差がなく「革小物・ベルト」で66.2%（96社）と回答が続いた。製品の需要の多さを考えると、大方予想された結果となった。

またシューズに関しては「婦人靴」で全体の44.8%（65社）、「紳士靴」で31.0%（45社）となった。

その他目立ったところでは「スポーツ用品」が17.9%（26社）、「手袋」が18.6%（27社）となり、「婦人服」や「インテリア製品」などを上回っている。



その他：安全靴・太鼓・靴底・肥料・ゼラチン  
 ※その他回答の中から「ベルト」の回答は、「革小物・ベルト」の回答数に加算した

# 2. 日本革データベース・アンケート集計

## ⑦ 主な取引先（販売先）について

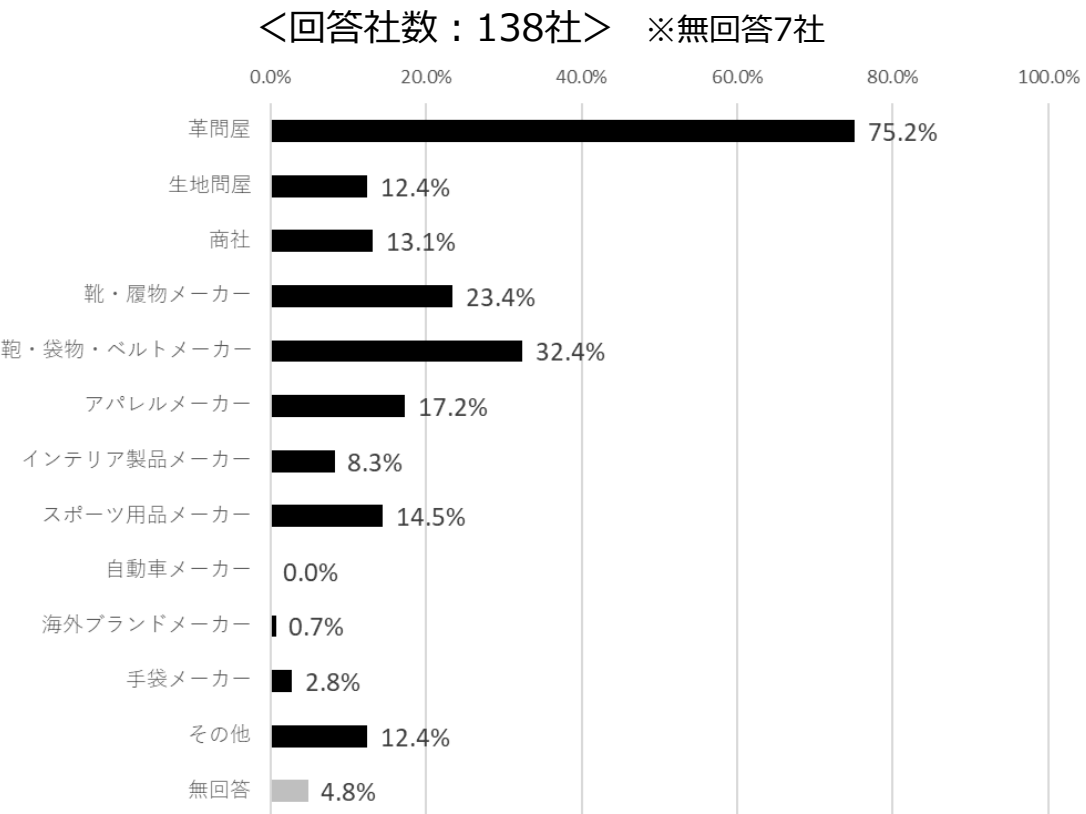
Q. 貴社の主な取引先（販売先）について、該当する取引先を下記から全てお選びください。（複数回答可）

①革問屋                    ②生地問屋                    ③商社                    ④靴・履物メーカー                    ⑤鞆・袋物メーカー  
 ⑥アパレルメーカー                    ⑦インテリア製品メーカー                    ⑧スポーツ用品メーカー                    ⑨自動車メーカー  
 ⑩海外のファッションブランドメーカー                    ⑪その他

なめし革の販売先として、最も多い回答となったのが「革問屋」で全体の75.2%（109社）となり、全体の4分の3のタンナーが販売先として「革問屋」を挙げている。

次いで多かったのは「鞆・袋物・ベルトメーカー」で全体の32.4%（47社）となり、前質問において、最も用途が多い製品として挙げられていた結果が、ここでも反映している。

予想よりも多い回答となったのは「生地問屋」で12.4%（18社）のタンナーが取引先があると回答している。



その他：官公庁・太鼓店・小売店・肥料メーカー・他  
 ※その他回答の中から「ベルトメーカー」の回答は「鞆・革小物・ベルトメーカー」の回答数に加算した

# 2. 日本革データベース・アンケート集計

## ⑧生産革の特徴について（生産・デリバリー面の特徴）

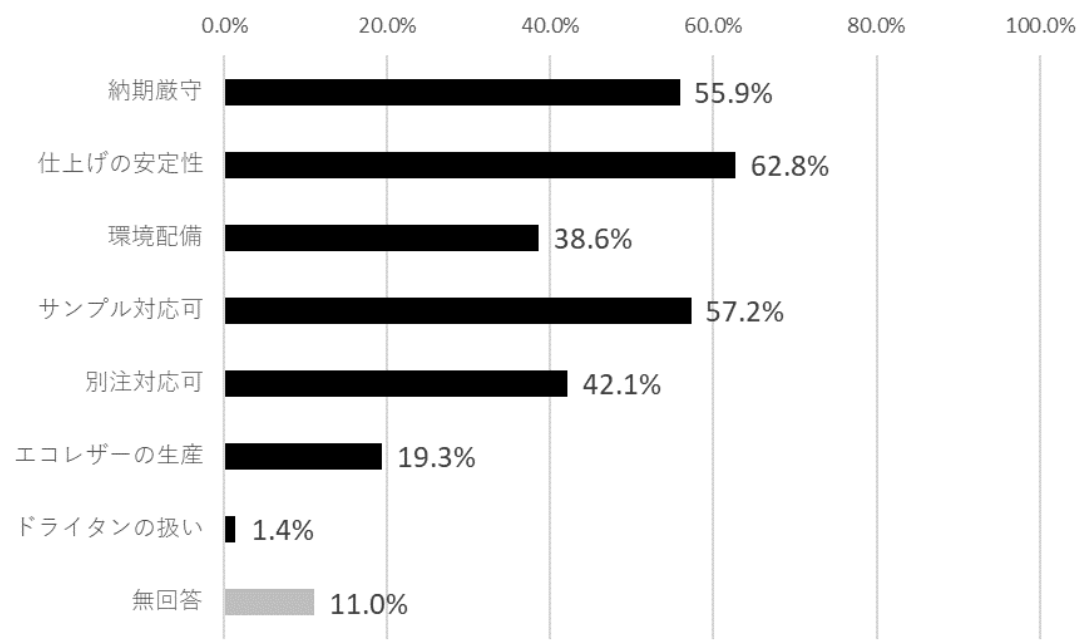
Q.貴社の生産革の特徴（売り）について、該当するもの全てを下記からお選びください。（複数回答可）

- ①納期は厳守できる
- ②仕上げの安定性には自信がある
- ③生産面で環境に配慮できている
- ④サンプル対応は可能である
- ⑤別注対応は可能である。
- ⑥エコレザー（JES認定）を生産している
- ⑦ドライタンを扱っている

生産しているなめし革の特徴を確認した。まずは<生産・デリバリー面>について、いずれの選択肢もある程度の回答率となったが、その中でも「仕上げの安定性」が最も高い回答率となり、全体の62.8%（91社）となった。「仕上げの安定性」は日本のタンナーが海外のタンナーと最も差別化できる点として挙げられることが多く、ここでもそれが表われた結果と言える。

逆に製品メーカーが拘る「サンプル対応」や「別注対応」に関しては、やや低めの回答率という印象となった。

<回答社数：129社> ※無回答16社



# 2. 日本革データベース・アンケート集計

## ⑧生産革の特徴について（仕上がった革の特徴）

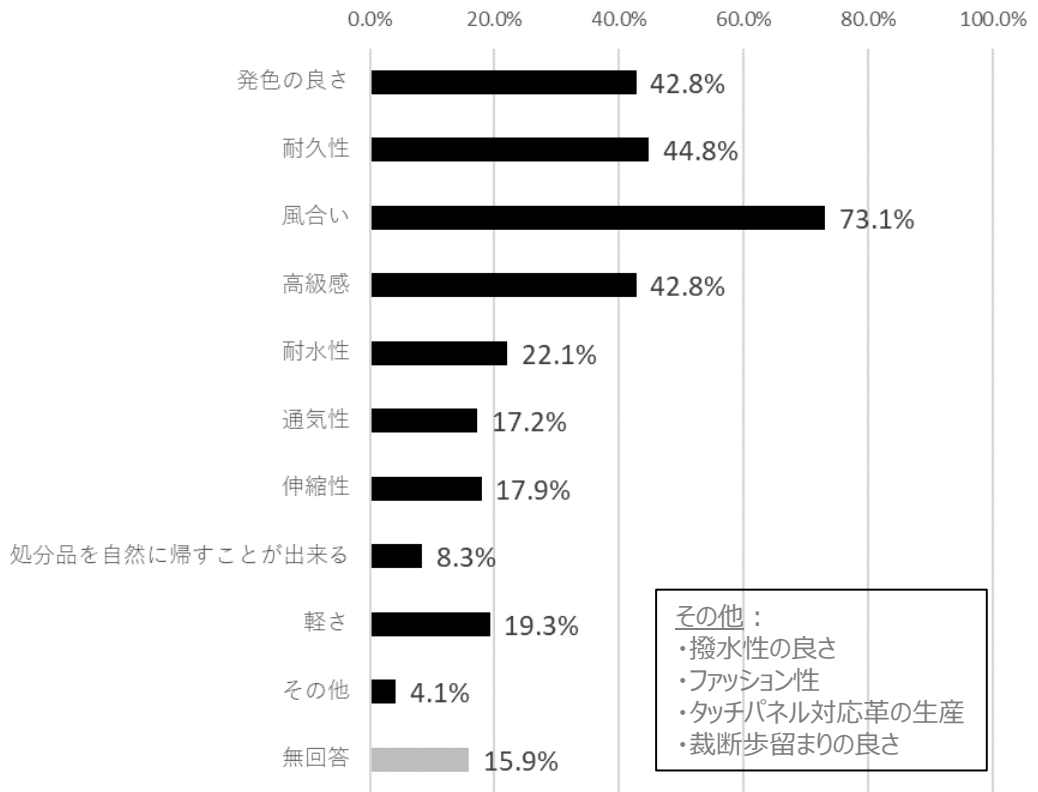
Q.貴社の生産革の特徴（売り）について、該当するもの全てを下記からお選びください。（複数回答可）

①発色の良さ      ②耐久性      ③風合い      ④高級感      ⑤耐水性  
⑥通気性      ⑦伸縮性      ⑧処分品を自然に帰すことが出来るなどの機能性      ⑨軽さ  
⑩その他

生産しているなめし革の特徴を確認した。  
＜仕上がった革の特徴＞について、「風合い」に自信があるタンナーが最も多く、全体の73.1%（106社）の回答率となった。  
次いで「発色の良さ」「耐久性」「高級感」がほぼ同程度の回答率となった。

その他の回答において、「タッチパネル対応革の生産」などの機能性や、「裁断歩留まりの良さ」などの丁寧な仕上げを売りとする回答もみられた。

<回答社数：122社> ※無回答23社





# 2. 日本革データベース・アンケート集計

## ⑨ 出展している展示会・イベントについて

Q. 貴社が出展及び行なっている展示会・イベントなどについて、出展している、行なっているもの、該当するもの全て下記からお選びください。（複数回答可）

- ① 自社展示会の開催
- ② 東京レザーフェアへの出展
- ③ 地域で開催しているフェアへの出展
- ④ 他社と協同で展示会を開催している
- ⑤ 海外展示会に出展している
- ⑥ ファッション関連の展示会に出展している
- ⑦ その他
- ⑧ 出展していない・開催していない

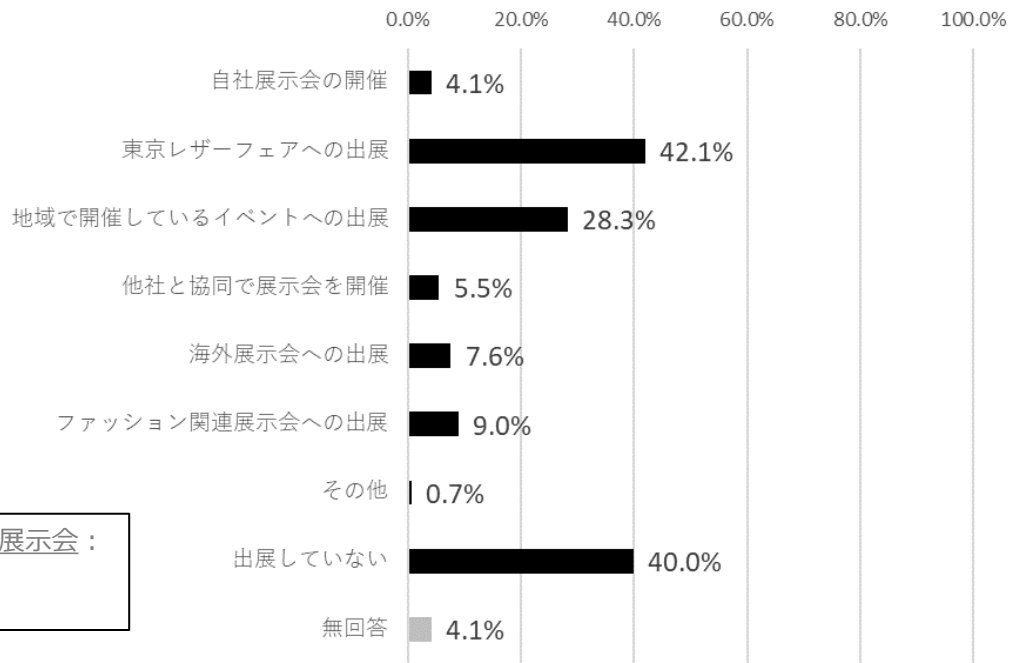
タンナーが出展している展示会・イベント、開催している展示会・イベントについて確認した結果、「東京レザーフェアへの出展」が全体の42.1%（61社）で最も多く、次いで「地域で開催しているイベントへの出展」で28.3%（41社）となった。

一方で「出展していない」が全体の40%（58社）となり、新たな取引先を開拓するのは必須の展示会、イベントへの出展・開催を行っていないタンナーが全体の4割に達している点は気になる点ではある。

- 出展している海外展示会：
- ・LINEA PELLE
  - ・Premiere Vision
  - ・APLF
  - ・MIPEL
  - ・COTERIE

- 出展しているファッション関連展示会：
- ・JFWジャパングリエーション
  - ・ファッションワールド東京

<回答社数：139社> ※無回答6社



# 2. 日本革データベース・アンケート集計

## ⑩情報発信手段について

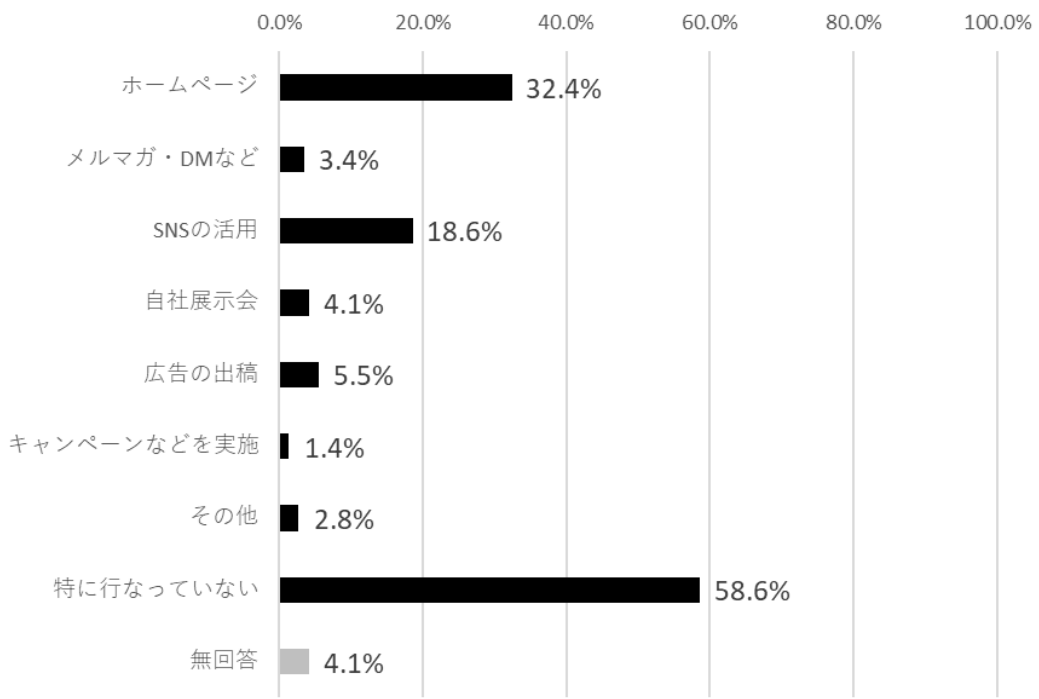
Q.貴社の情報発信手段について、行なっているもの全て下記からお選びください。（複数回答可）

①HP（ホームページ）      ②メルマガ・DMなど      ③SNSの活用      ④自社展示会  
⑤広告の出稿      ⑥キャンペーンなどの実施      ⑦その他      ⑧特に行っていない

現在のタンナーの大きな課題とも言える情報発信であるが、現状、情報発信のツールとなっているのは「HP（ホームページ）」であり、全体の32.4%（47社）が最も高い回答率となった。次いで「SNSの活用」が18.6%（27社）となった。

「特に行っていない」の回答率58.6%（85社）に表われているように、情報発信に関しては、まだまだ出来ていないタンナーが多いと言わざるを得ない。

<回答社数：139社> ※無回答6社



その他：セミナーの開催、イベントを通して、展示会を通して

# 2. 日本革データベース・アンケート集計

## ⑪ 取得している認証制度について

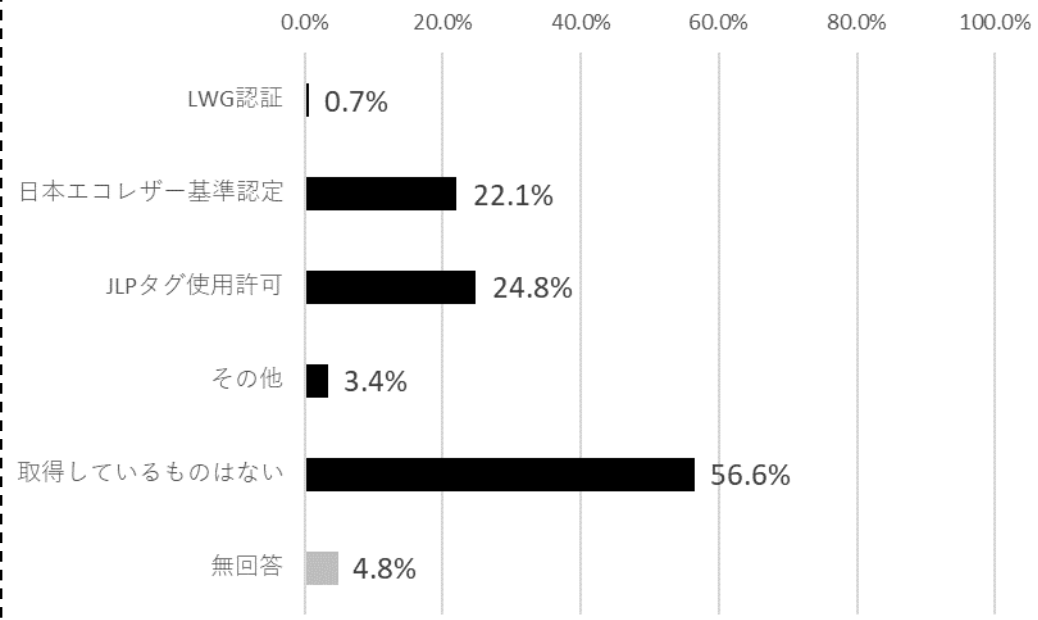
Q. 貴社が取得している認証制度について、該当するもの全てを下記からお選びください。（複数回答可）

①LWG認証                      ②日本エコレザー基準認定                      ③JLPタグ使用許可  
④その他                              ⑤取得しているものはない

タンナーが取得している各種認証制度について確認した結果、「JLPタグ」が全体の24.8%（36社）が取得しており、次いで「日本エコレザー基準認定」の22.1%（32社）という結果となった。

レザー関連の認証制度には、業界団体の認定の他、地域による認定もあるが、近年はレザーに限定せず、ISO9001やSIAAマークといった品質や抗菌性などの機能に対する認証制度も対象となっており、今後、タンナーの業界においても、こうした認証の取得は進んでいくことが、業界の認知向上、イメージ向上に繋がっていくと思われる。

<回答社数：138社> ※無回答7社



その他 : 事業継続力強化計画認定  
ISO9001  
すみだモダンブランド認証  
JIS規格  
SIAAマーク取得

## 2. 日本革データベース・アンケート集計

### ⑫タンナー各社のその他特徴について(1)

Q.その他、自社の特徴(実績・他社との違いなど) についてご自由にお書き下さい。

- 透明感のある光沢のあるグレージング仕上げ。環境に優しいクロムフリーの革。
- 衣料革や袋物製品などに適した革素材の色あわせができる。
- 多様な仕上げができる
- 厳選した上質な国内産サラブレッド種の原材料を採用。現在、手作業によるロウビキ加工を施した馬革が不動の人気素材となっている。
- 機械設備が充実しており、殆どが自社で生産する事が出来るので、各部で検査，点検をするので、製品の安定度が高い。
- 独自の技法によるエナメル革は、均一で安定した丈夫な塗膜を持ち、ソフトからハードまで様々な生地に対応している。
- ソフトで軽い革、革らしい風合いがあり、経年変化を楽しむことができる革が特長で環境にやさしい安心、安全な革の製造を行なっている。
- 国産、北米両方の原皮を扱い、素材を作り分けているため、原皮調達は安定していて、リードタイムが早い。
- 古典製法による生皮（キガワ）製造、古典製法による革づくり、古典製法による膠づくりを行なっている。
- 色や仕上がり感を含め、商品の安定性には自信がある。
- 個人のクリエイター、デザイナーとの直接取引をしてオリジナル素材を製作している。
- 植物タンニン専門の染革販売卸業。メーカーに合わせてサンプルを創っている。
- ソフトレザーを得意とし、薄いものから厚いものまで多くの種類のレザーを取り扱っており、ヌメ革も扱っている。
- エレガンス系スムーズに知識・経験・実績豊富
- 国内唯一のボックスカーフを生産している。

## 2. 日本革データベース・アンケート集計

### ⑫タンナー各社のその他特徴について(2)

Q.その他、自社の特徴(実績・他社との違いなど) についてご自由にお書き下さい。

- 自社工場における原皮から製品までの一貫生産。全てを自社で行っている分、トレーサビリティには自信がある。ピット槽での植物タンニンなめしを行っている。
- 姫革細工の材料として活用されている。
- 長年培ってきた経験を生かし、防水、撥水、抗菌、防臭、難燃等、常に新しいことに対応している。
- ソフト革（レザー）を中心に顧客に合ったなめし方法や仕上げを提案できる。またサステナブル素材としてゼオライト鞣しを行なっている。
- 日本に6社しかない爬虫類専門のタンナーであり、世界の有名ファッションブランドの染色加工も受注している。
- 先進的斬新な発想で新しい革作り（特にエコーレザー）を目指している。受注には迅速、即決に対応する。特に納期遵守には厳しく、常に原料等の在庫管理を徹底して顧客に即対応出来る。
- 日本で約5件しかない小判（シープ、ラム、キッド）等を扱っている。新社屋を建て直し、一般の方を工場見学出来るように設計し、革の出来上がるまでの工程を見てもらえるよう革に触れてもらいながら説明できるようにしている。
- 薄物から厚物まで対応できる。
- 原皮から仕上げまで自社で一貫して行っている為、特徴やこだわりを持ちつづけられる。
- 製品のブレをなくし、安定した生産を繰り返している。
- 牛革をはじめ、ゴード、ピックスキン等の植物タンニンなめしのヌメ革を主に取り扱い、手塗りや型押しインクジェット印刷などの染色・加工等を複合的に駆使して幅広く素材を提案している。
- 多品種小ロット+高付加価値の素材への特化を考えている。週休3日で標準以上の給与待遇や厚生面での充実した会社に転換を計っている。

## 2. 日本革データベース・アンケート集計

### ⑫タンナー各社のその他特徴について(3)

Q.その他、自社の特徴(実績・他社との違いなど) についてご自由にお書き下さい。

- クロム鞣・ハードヌメ・ソフトヌメ・クロムフリー・メタルフリー・生皮など多種の鞣を得意としている。
- ドラムダイに拘り、スプレーによる調色をしない事で、仕上がりの透明感や色の深み、長く経年変化を楽しんで頂ける鞣し、染色を行なっている。
- 商品の仕上りクレームがほとんどない。返品がない。
- ソフト調（シボ出し）、ヘビタン（ガラス調タイプを）など
- 歩留まりの安定性。各規格（JISなど）物性に対応している。
- より良い下地加工を行う為に、イタリア製の最新の設備（ドラム・セッター・乾燥設備・バイプレ・空打ちドラム等）で対応している。
- 厚さ0.8ミリからのソフトレザーを得意としている。
- 全国600ヶ所以上の害獣皮（シカ・猪）のなめし加工支援をしています。J I C Aを通じてモンゴル国へ技術協力をしている。
- 革がもつ本来の良さを生かした仕上げ
- アニリン染め。昔ながらの手作業で行なっている。

## 2. 日本革データベース・アンケート集計

### ⑫自由意見

#### 取り引きについての希望・要望・意見（自由回答）

- ・今のタンナーは薬品高又外注高に苦しい思いをしている。
- ・取引先の人たちはもっとタンナーの思いを知ってほしい。
- ・異業種のマッチング&コラボに関心が高い。
- ・CD級込みの企画がありがたいです。
- ・なめし剤、染料、加脂剤など皮革に使用する薬剤を国産のものですべて賄い製造すると、どのような革が出来るのか、また販売価値が有るのか、研究と調査を出来るものでしょうか。
- ・御社のモノづくりに対する考え方（想い、切り口など）を基にどのような商品企画をされるのか？とその結果、素材に対してどのような事を求めているのかをお教え下さい。
- ・皮革の価格はサプライチェーンで決定していく事が重要で、一業種（タンナー）だけが値上げの声を上げても、最終商品の上代が変わらなければ困難である。原皮・薬品・電気等、一方的な値上の価格転嫁をすみやかにうながしたい。
- ・皮革産業は鞣すことだけが業種じゃないはずなので、もっと多様なマーケットへの参入を希望します。アンケートも鞣すことばかりに特化した質問ばかりなのが不思議です。
- ・タンナーとは、あくまで商品のパーツで有るので、完成商品を作るメーカーがもっと日本の中で有って欲しいです。製造国は日本であって欲しいです。
- ・警察、自衛隊への白及び黒色の手袋の納入を希望。
- ・唯一無二の拘った仕上げ、品質向上にかけた費用や工賃を日本のお客様になかなか認めて頂けず、気に入って頂けても結果値引交渉になる。海外では通ることが日本では非常に難しい。

## 2. 日本革データベース・アンケート集計

### ⑫自由意見

#### 取引きについての希望・要望・意見（自由回答）

- ・円安なので海外からの加工依頼を希望する
- ・サンプルなどは半裁2枚から受け付けています。会社の規模はたしかに大きいですが、少量からのサンプル、ロット受け付けていますので、その点知って頂きたいです。
- ・本来であれば製品問屋様と直接取引をしてデザイナー様がもともとめている革を作りたいと思っています。東京には革問屋さんが多い為どうしても今までの付き合いで直接製品問屋、メーカー様との取引きができない状態です。やはり、直接デザイナー様と話をして作り手と作り手が話せば良い商品ができると思っています。
- ・皮革業界、ファッション、雑貨業界など、皮革に関わるところで価値や販売金額を上げられるようにしたい。
- ・染色の技術を認めてほしい。認めてないので給料が上がらない、工賃も上がらない。皮革業界の一番悪いところですよ
- ・取引先については現況を考慮し値上げに速やかに対応してほしい。小ロット対応は生産性もよくなく、（なかなか）全く!!採算が取れない。
- ・問屋業者であるなら、自社にて在庫を持ってほしい。



---

## 3. 日本革データベース・内容

### 3. 日本革データベース・内容 : 掲載企業①

#### ①松原支部（松原皮革協同組合連合会） : 34社

発送先	〒	所在地	発送先	〒	所在地
高義製革所	679-4142	たつの市揖保町松原204	嶋田時夫製革所	679-4143	たつの市揖保町東用276-3
瀬戸商店	679-4142	たつの市揖保町松原37	西岡製革所	679-4143	たつの市揖保町東用296-1
瀬戸製革所	679-4142	たつの市揖保町松原282-1	田中皮革工業所	679-4143	たつの市揖保町東用55-13
島田製革工業所	679-4141	たつの市揖保町栄81-1	(株)寺田製革所	679-4143	たつの市揖保町東用107
嶋田定製革所	679-4143	たつの市揖保町東用55-12	シンヤ工業所	679-4153	たつの市揖保町門前369-1
シマダ化製所	679-4143	たつの市揖保町東用263-1	(有)繁栄皮革工業所	679-4142	たつの市揖保町松原191-2
嶋田悟製革所	679-4153	たつの市揖保町門前343-1	中嶋皮革工業所	679-4142	たつの市揖保町松原200
嶋田清貴製革所	679-4153	たつの市揖保町門前317-2	龍野化成(株)	679-4142	たつの市揖保町松原321
大圓製革産業	679-4143	たつの市揖保町東用55-4	(有)中嶋義浩製革所	679-4142	たつの市揖保町松原245
(株)小寺製革所	679-4142	たつの市揖保町松原38	VL.ナカシマ(株)	679-4142	たつの市揖保町松原115-2
キモト・レザーワークス(株)	679-4143	たつの市揖保町東用120-1	セイジョー化成	679-4134	たつの市誉田町広山714-1
北川化製所	679-4142	たつの市揖保町松原富家ノ星224-1	橋本仁製革所	679-4142	たつの市揖保町松原27-1
エルヴェ化成(株)	679-4143	たつの市揖保町東用159-1	橋本皮革工業所	679-4143	たつの市揖保町東用54-3
石本皮革工業所	679-4142	たつの市揖保町松原50-1	松真化製工業	679-4143	たつの市揖保町東用13
浦上製革所	679-4143	たつの市揖保町東用163	松本静夫製革場	679-4153	たつの市揖保町門前字下村299-3
前田レザー	679-4143	たつの市揖保町東用157-1	(株)モリヨシ	679-4141	たつの市揖保町栄125
湯浅皮革工業所	679-4142	たつの市揖保町松原282	橋本キール	679-4143	たつの市揖保町東用97-1

### 3. 日本革データベース・内容 : 掲載企業②

② 誉田支部（播州皮革工業協同組合）：13社

③ 沢田支部（沢田皮革協同組合）：10社

会社名	〒	所在地
出口化学	679-4134	たつの市誉田町広山72
徳永雅信製革所	679-4125	たつの市龍野町末政270-2
中島隆製革所	679-4127	たつの市龍野町宮脇216
(株)マルヒラ	679-4133	たつの市誉田町誉26
西村産業	679-4132	たつの市誉田町福田4
丸太産業	679-4136	たつの市誉田町井上447-2
森口製革所	679-4133	たつの市誉田町誉74-1
森本商店	679-4133	たつの市誉田町誉72
まるいち製革所	679-4127	たつの市龍野町宮脇199
(株)キタヤ	679-4133	たつの市誉田町誉91
山静製革所	679-4133	たつの市誉田町誉106
吉川皮革工業所	679-4133	たつの市誉田町誉47-1
安田大成製革所	679-4131	たつの市誉田町内山24

会社名	〒	所在地
妹尾産業	679-4116	たつの市神岡町沢田1096-1
富士グローブ(株)	679-4003	たつの市揖西町小神147
松岡皮革	679-4116	たつの市神岡町沢田1351
徳永剛三製革所	679-4116	たつの市神岡町沢田1329
ユアサグローブ(株)	679-4116	たつの市神岡町沢田943-4
徳成皮革化成所	679-4116	たつの市神岡町沢田1321-1
福真興産	679-4116	たつの市神岡町沢田1081
雅彦化成(株)	679-4116	たつの市神岡町沢田1308
福本製革所	679-4116	たつの市神岡町沢田字下与921-1
とくみつ	679-4116	たつの市神岡町沢田1282

### 3. 日本革データベース・内容 : 掲載企業③

#### ④高木支部（姫高皮革事業協同組合）：20社

会社名	〒	所在地
アークレザージャパン(株)	671-0256	姫路市花田町高木字山溝筋210
(株)ヒライコーポレーション	671-0256	姫路市花田町高木21
金田茂彦製革所	671-0256	姫路市花田町高木304-2
吉田真皮化成(株)	671-0256	姫路市花田町高木441
イサム製革	671-0256	姫路市花田町高木80
(株)きたなかコーポレーション	671-0256	姫路市花田町高木130-1
サカモト製革所	671-0256	姫路市花田町高木77-7
三島商店	671-0256	姫路市花田町高木359
(株)セナレザー	671-0255	姫路市花田町小川1152-11
(株)ニッタ	671-0256	姫路市花田町高木99
島尾製革所	671-0255	姫路市花田町小川583
大崎商店	671-0256	姫路市花田町高木291-1
下谷製革所	671-0255	姫路市花田町小川1138-2
前勝皮革	671-0256	姫路市花田町高木41-1
大喜皮革(株)	671-0256	姫路市花田町高木280
(株)金梅	671-0256	姫路市花田町高木50
(株)松崎	670-0811	姫路市野里951

会社名	〒	所在地
オールマイティ	671-0256	姫路市花田町高木290-1
熊辰製革所	671-0256	姫路市花田町高木143-1
森本尚製革所	671-0256	姫路市花田町高木71-21

#### ⑤川西支部(北摂播磨皮革協同組合)：5社

会社名	〒	所在地
(有)コンチェリア多田	679-4142	たつの市揖保町松原219
(株)ヤマクニ	679-4143	たつの市揖保町東用117
岡本製革所	679-4133	たつの市誉田町誉43
前勝商店	679-4132	たつの市誉田町福田203-2
平野商会	679-4127	たつの市龍野町宮脇字新田211-1

#### ⑥大阪支部(日本タンナーズ協会大阪支部)：1社

会社名	〒	所在地
(株)山陽	670-0821	兵庫県姫路市東郷町43

### 3. 日本革データベース・内容 : 掲載企業④

#### ⑦御着支部（御着四郷皮革協同組合）：20社

会社名	〒	所在地
(株)高田シェービング	671-0241	姫路市四郷町上鈴320
井澤一製革所	671-0233	姫路市御国野町西御着470
大日産業	671-0233	姫路市御国野町西御着523
ワールドラベル(株) マスモト工場	671-0233	姫路市御国野町西御着469
(株)金田製革所	671-0233	姫路市御国野町西御着612
松岡化成	671-0243	姫路市四郷町本郷316-3
安井産業(株)	671-0241	姫路市四郷町上鈴260-1
(株)良品生産	671-0248	姫路市四郷町山脇283
(有)オオヤ	671-0233	姫路市御国野町西御着556
石井一産業	671-0248	姫路市四郷町山脇368
中田製革所	671-0241	姫路市四郷町上鈴286-6
石井立美製革所	671-0233	姫路市御国野町西御着477-2
川口製革所	671-0241	姫路市四郷町上鈴
(株)三昌	671-0248	姫路市四郷町山脇150-1
(有)橋本製革所	671-0241	姫路市四郷町上鈴233
昭南皮革工業所	671-0233	姫路市御国野町西御着509-1
前田久製革所	671-0233	姫路市御国野町西御着546

会社名	〒	所在地
高田製革所	671-0233	姫路市御国野町西御着483-1
大活工業所	671-0241	姫路市四郷町上鈴256
(有)大新産業	671-0233	姫路市御国野町西御着463

#### ⑧和歌山支部（和歌山県製革事業協同組合）：7社

会社名	〒	所在地
森久工業	640-8124	和歌山市雄松町1-24
(株)上忠	640-8124	和歌山市雄松町3-39
協同組合 正和	640-8124	和歌山市雄松町6-15-3
(有)ハヤシ	640-8124	和歌山市雄松町6-21-5
(有)トミタ工業	640-8124	和歌山市雄松町6-21-8
(有)大星産業	640-8124	和歌山市雄松町1-36-1
正揮皮革工業所	640-8124	和歌山市雄松町6-28-1

### 3. 日本革データベース・内容 : 掲載企業⑤

#### ⑨ 関東支部（日本タンナーズ協会関東支部） : 35社

会社名	〒	所在地
長谷川染革	132-0035	東京都江戸川区平井7-18-7
(株)アオキ	111-0032	東京都台東区浅草7-8-11
(株)小笠原染革所	131-0031	東京都墨田区墨田4-31-7
(株)ニッピ・フジタ	120-8601	東京都足立区千住緑町1-1-1
(株)エセカ	131-0042	東京都墨田区東墨田3-15-19
(有)T.M.Y's	131-0042	東京都墨田区東墨田3-14-21
トウキョウレザーファクトリー	131-0046	東京都墨田区京島1-8-8
(有)田丸製革所	131-0042	東京都墨田区東墨田3-6-5
(株)スズキ	111-0032	東京都台東区浅草5-2-10
(有)ティグレ	272-0813	千葉県市川市中山1-7-15
本田産業(株)	131-0042	東京都墨田区東墨田2-16-1
(株)カナメ	131-0033	東京都墨田区向島2-6-16
(有)レーデルオガワ	277-0922	千葉県柏市大島田2-5-8
長坂染革(株)	124-0006	東京都葛飾区堀切1-34-8
石居みさお皮革	131-0042	東京都墨田区東墨田3-21-13
(株)HIROインターナショナル	131-0042	東京都墨田区東墨田3-16-4
福島化学工業(株)	131-0042	東京都墨田区東墨田3-9-17

会社名	〒	所在地
(有)マツイ	116-0002	東京都荒川区荒川8-6-14
(株)ニシノレザー	131-0042	東京都墨田区東墨田3-5-3
(株)山本工業	116-0002	東京都荒川区荒川8-21-4
(株)太閤染革	340-0002	埼玉県草加市青柳1-4-19
山口産業(株)	131-0042	東京都墨田区東墨田3-11-10
山己皮革染色(株)	131-0042	東京都墨田区東墨田3-15-9
伊藤産業(株)	340-0022	埼玉県草加市瀬崎2-20-18
栃木レザー(株)	328-0033	栃木県栃木市城内町2-1-4
(株)メルセン	395-0074	長野県飯田市松川町2211
墨田産業(株)	131-0042	東京都墨田区東墨田3-5-18
(株)協染	131-0042	東京都墨田区東墨田2-4-16
本田皮革(株)	131-0042	東京都墨田区東墨田3-12-1
墨田革漉工業(株)	131-0041	東京都墨田区八広4-43-4
(株)藤豊工業所	131-0042	東京都墨田区東墨田3-17-13
(有)兼子皮革染色工場	131-0042	東京都墨田区東墨田3-14-25
幸革	343-0852	埼玉県越谷市新川町1-63-1
河合産業(株)	340-0005	埼玉県草加市中根1-14-1
日東皮革(株)	340-0017	埼玉県草加市吉町3-4-56

### 3. 日本革データベース・内容（画面）

---

日本の皮革・タンナー データベース

### 3. 日本革データベース・内容（画面）

#### ご利用にあたっての留意事項

1. 当データベースの内容は、2022年11月に実施した各製革業者へのアンケート調査結果によるものです。最新の内容をお知りになりたい方は、直接製革業者に確認を取って下さい。
2. 当データベースは各製革業者へのアンケート調査を実施し、そこで得た回答が反映されております。また設問に対して選択肢の中から選んだ項目の文言がそのまま掲載されておりますため、実際とは微妙にニュアンスの違いが生じているケースもあります。また「事業規模」「従業員数」「生産キャパシティ」といった設問に関しては、実際には選択肢の上限を大きく上回る企業もありますので、ご了承下さい。
3. 今回、当データベースには145社の製革業者のデータが掲載されています。日本で実際に活動している製革業者は250社前後あり、掲載できていない製革業者に関しても今後情報を得られ次第、データベースに追加していく予定です。
4. 当データベースに関するお問い合わせは、一般社団法人日本タンナーズ協会（tel：0792-82-6701）にお問い合わせ下さい。



### 3. 日本革データベース・内容（検索画面）

5. タンナー名(五十音順)から探す

2. 産地(地域)から探す

1. 日本の革産業の特徴を見る

4. 主な製品用途から探す

3. 扱っている革種から探す

### 3. 日本革データベース・内容（画面）

---

#### 1. 日本の製革産業・タンナーの特徴

日本の革は、革の加工技術の多くが飛鳥時代以前から大陸から渡来した人々によって伝えられたとされ、1500年の歴史があります。古くは鹿革が中心で、武具や馬具の他、衣類や寝具など幅広く愛用され、その後、牛革、馬革、そして豚革も使われるようになりました。現在は日本では牛革が最も多く生産されていますが、豚、馬、羊、鹿といった種類の革も生産されており、それぞれの品質を最大限に活かした仕上げもさることながら、日本古来の工法である藍染め、漆、墨流しなどの手法を用いた革も作っており、日本オリジナルの革を仕上げています。

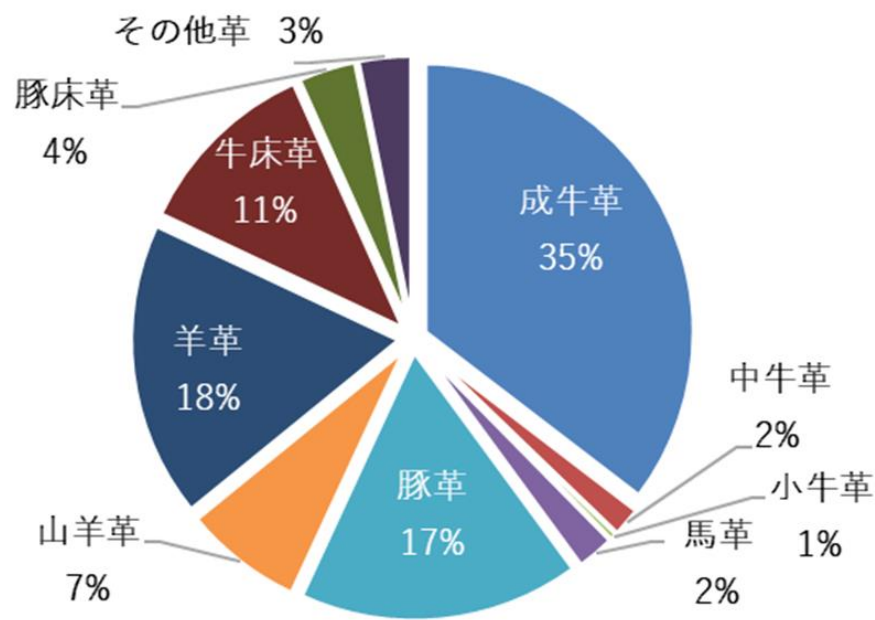
日本国内でも、気候、文化、歴史的背景により、仕上がる革の特徴は異なりますが、日本の革は海外でなめされる革に比べ、より品質の安定性、再現性の高さ、丁寧な仕上がりに特徴があると言われています。その革が出来上がる背景として、革を仕上げるために欠かせない豊富な日本の水源が挙げられます。日本の川は距離が短く、急流の川が大半を占めるため、水質が綺麗であると言われています。日本の革産地にはその綺麗な水質の川が複数存在しており、その水質を使って丹念ななめし作業が行なわれています。また近年は環境問題への対応として、ノンクロームレザー、エコレザーへの取り組みも強化しており、日本の技術力を活かした新たな革が次々と生産されています。

こうした環境の下、日本のタンナーは丁寧な仕上げ、ロスの少ない仕上がり、納期を厳守し、きっちりと納品するといった、トラブルの多い革作りの中でも取引先との契約を厳守し、信用力の高いビジネスを行なっています。

# 3. 日本革データベース・内容（画面）

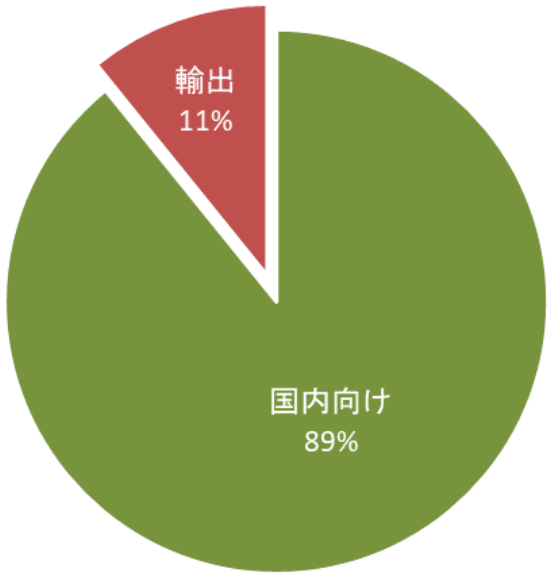
## 1. 日本製革産業・タンナーの特徴（革種別統計）

生産革種別販売枚数構成比 n=320,160枚



仕向け先別生産販売枚数比率(全国)

n=320,160枚

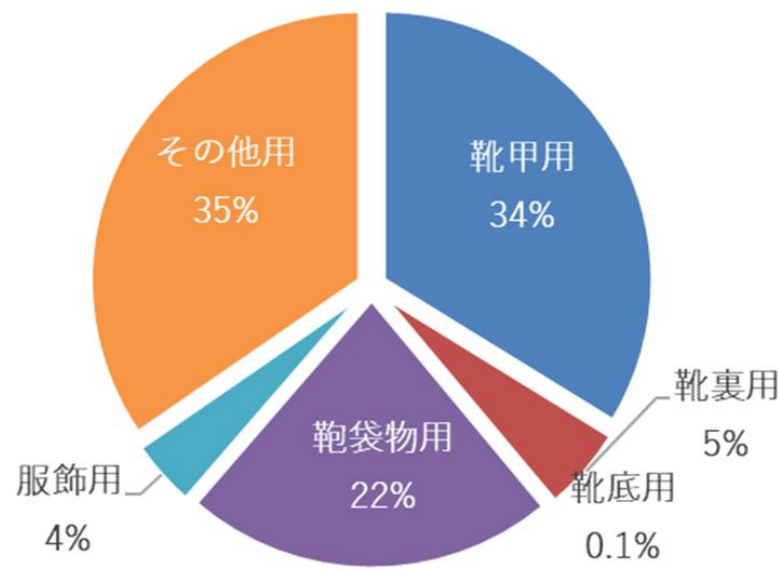


※（一社）日本皮革産業連合会・（一社）日本タンナーズ協会：「令和4年度 製革業実態調査」より  
※生産販売枚数は令和4年1月～7月までの総生産販売枚数を1月あたりに平均して算出した数字

### 3. 日本革データベース・内容（画面）

#### 1. 日本製革産業・タンナーの特徴（用途別統計）

用途別生産販売枚数構成比（全種）



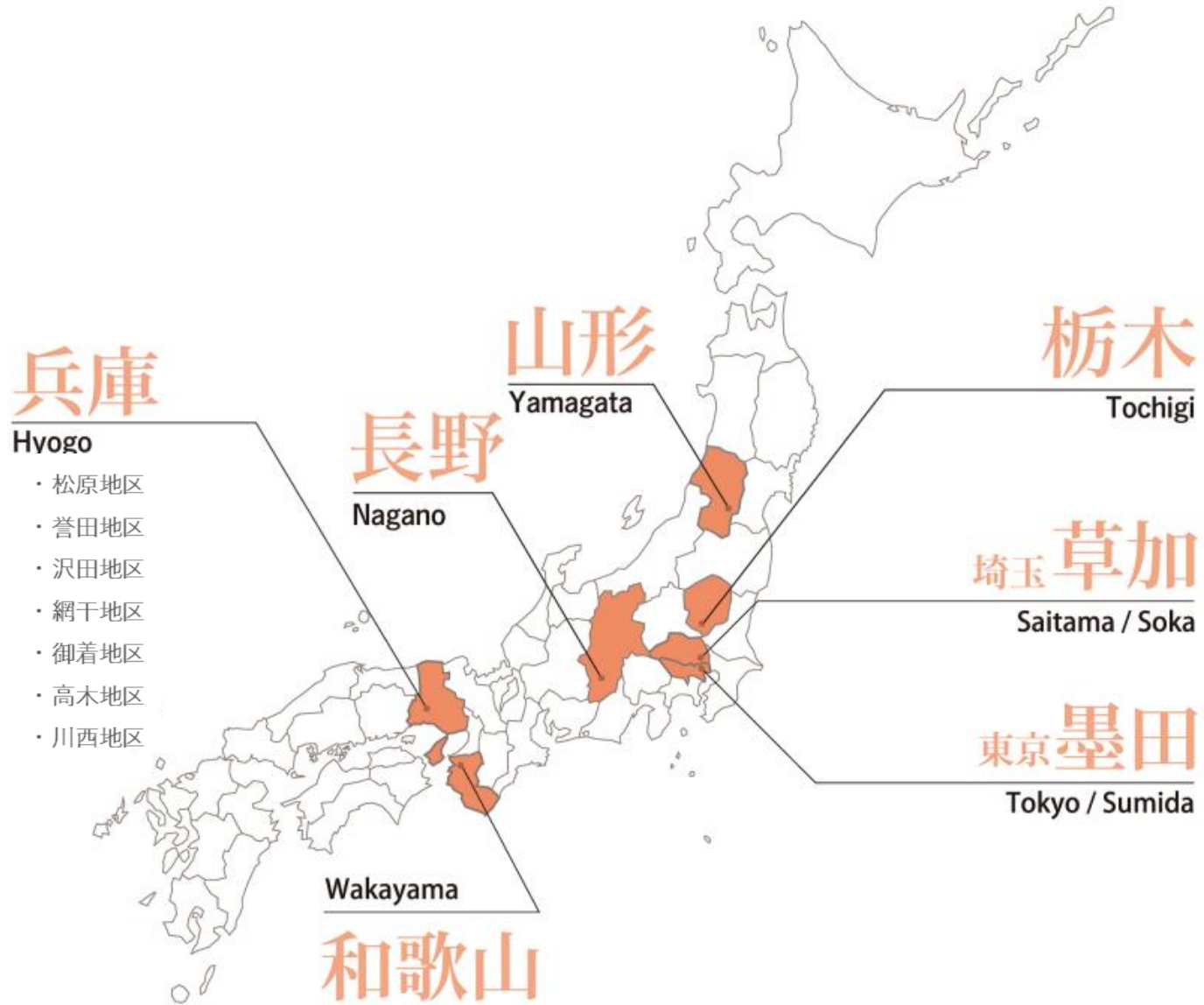
(枚) 月間/丸革

用途	販売枚数	
靴甲用	108,190	
靴裏用	16,357	
靴底用	210	
鞆袋物用(ハンドセル・鞆・ハンドバッグ・小物等)	71,663	
服飾用(ベルト・衣料・手袋等)	12,969	
その他	グローブミット等運動工具用	15,013
	手芸工芸用	1,454
	家具、インテリア用	6,188
	カーシート用	31,605
	工業手袋等安全具用	6,099
	電動ベルトサドルバックキング等工業用	1,110
	ウェットブルー	21,200
	その他	28,102
計	320,160	

※（一社）日本皮革産業連合会・（一社）日本タンナーズ協会：「令和4年度 製革業実態調査」より  
 ※生産販売枚数は令和4年1月～7月までの総生産販売枚数を1月あたりに平均して算出した数字

### 3. 日本革データベース・内容（画面）

#### 1. 日本製革産業・タンナーの特徴（産地紹介）



## 3. 日本革データベース・内容（画面）

### 1. 日本の製革産業・タンナーの特徴（産地紹介）

#### 兵庫

日本で一番生産量が多いのは、兵庫県姫路・たつの地区です。日本全国の6割のタンナーが集積しているこの地域は、松原、誉田、沢田、網干・実法寺、御着・四郷、高木、川西の7つの地区があり、伝統的な技術に加え、最先端の技術開発により、これまでの既成概念を覆すような革も誕生しています。さらには伝統的ななめし技術の復刻、継承にも注力しており、温故知新による地域ぐるみの革作りが続いています。

#### 【松原地区】

クロムなめしの袋用革、衣料革、手袋用、工業用、インテリア用、椅子張用、カーシート用革など、全般的な製品を生産しています。

#### 【誉田地区】

クロムなめしの薄物中心、衣料用、手袋用、ハンドバッグ用、袋物用、靴用など全般的な製品を生産しています。

#### 【沢田地区】

クロムなめしの薄物中心、衣料用、手袋用、袋物用、靴用などを生産しています。

#### 【網干・実法寺地区】

にかわ、ゼラチン・コラーゲン類の日本最大の産地で、クロムなめしの製品を扱い靴用革の生産が盛んな地域です。

## 3. 日本革データベース・内容（画面）

---

### 1. 日本の製革産業・タンナーの特徴（産地紹介）

#### 【御着・四郷地区】

クロムなめし、靴用革底、草履用青革、服装ベルト用革、ぬめ革、クロムなめしの靴用甲革、靴用革、袋物用革、衣料用革等の生産が盛んな地域です。

#### 【高木地区】

靴用甲革、鞆、袋用、衣料用革の他に、馬革の生産や姫路白なめし革など、様々な革の生産を行なっています。

#### 【川西地区】

クロムなめしの薄物中心、衣料用、手袋用革の生産において、0.4～0.6ミリの薄さと、しなやかさを出す技術は世界的にも追隨を許さない高度なものです。

### 和歌山

和歌山のタンナーは、ヌメ、床、シープ、そして和歌山を代表する仕上げのエナメルなどの専門性を身に付け、分業することで成立する専門的な革も和歌山では特化し、一社で製作管理をしています。ゆえに他ではラインに乗りづらいものにも対応できる環境が整っています。またタンナー同士の結束力も強く、情報や技術の共有がスムーズに行われています。

## 3. 日本革データベース・内容（画面）

---

### 1. 日本の製革産業・タンナーの特徴（産地紹介）

#### 東京・墨田

この地区で生産されるピッグスキンは、純国産の豚の原皮を使った「メイド・イン・トウキョウ」の革として日本を代表する革となっています。またこの地区ではタンナーだけでなく、革問屋をはじめ、靴、鞆のメーカー、卸問屋も集積しており、なめしから製品製造、流通までを担う皮革製品産地となっています。加えて、なめし、染色、加工、漉きなどの専門的な職人・工房が集まっており、町ぐるみの生産体制がとられ、分業ゆえに手間暇かかるオーダーにも強い環境が整っています。

#### 埼玉・草加

草加地区の革産業は、他の地域よりも歴史が浅いため、その状況を変えるべく、タンナーは地域ぐるみで原皮調達から製品化まで連携し、扱う革も、牛からエキゾチックレザーまで多彩です。エコレザーへの取組み、次世代への技の継承にも注力しており、新しいことに対しどんどんと挑戦していく姿勢を持っています。

#### 栃木・長野・山形

栃木、長野、山形地区のタンナーは、企業数こそ多くはありませんが、あらゆる革に対応している大手タンナーや、インテリアソファ、チェアなど大型革製品に対応しているタンナーが存在し、豊かな水源を持つ立地を活かした特徴を持って活発に活動しています。



### 3. 日本革データベース・内容（画面）

#### 製革業者が出展している主な展示会・イベントの紹介（国内）①

	展示会・イベント名	開催場所	開催時期	内容
1	東京レザーフェア	東京・台東区	5月・12月	台東区の都立産業貿易センター台東館に於いて年2回開催されているレザー関連の新たなマテリアルの提案及びトレンド情報の発信をするトレードショー。近年では海外の革メーカーや販売会社も展示参加している日本最大のマテリアル展示会。
2	JFW (ジャパンクリエーション)	東京・千代田区	11月	東京国際フォーラムで開催され、高感度、高品質、高機能など、高付加価値な日本製品を一堂に揃え、世界から質の高いバイヤーが集う日本最大の繊維総合見本市。日本のトップブランドアパレル、デザイナーの他、拡大する通販市場や日本の繊維流通の重要な担い手である商社・問屋のキーパーソンが訪れる。
3	ファッションワールド東京	東京・江東区	4月・10月	毎年春と秋に東京ビックサイトで開催される日本最大のファッション展。最新のサステナブルファッション、アパレル、バッグシューズ、アクセサリー、生地・素材・副資材、ファッションDXを扱う企業が世界中から出展します。年間最大の商談の場として業界に定着している。
4	日本革市	全国百貨店	3月～12月	日本の天然皮革素材と革製品に関する国内最大規模の総合情報メディア「日本革市」。なめし革、革製品の魅力と価値を恒常的に訴求させるために日本の全国百貨店と連携し、開催するPR事業。
5	ひょうご皮革総合フェア	兵庫・たつの市	11月	兵庫県の地場産業として歴史と伝統のある皮革産業の産地イメージの向上、兵庫ブランド天然皮革のPR及び様々な交流による地域の活性化を図るため、ひょうごレザーの魅力に触れられるイベント。

### 3. 日本革データベース・内容（画面）

#### 製革業者が出展している主な展示会・イベントの紹介（国内）②

	展示会・イベント名	開催場所	開催時期	内容
6	草加レザーフェスタ	埼玉・草加市	2月	2023年で発足20周年の佳節を迎える、草加市の地場産業である「皮革」産業。レザークラフト体験と皮革製品の展示即売会を中心としたイベントを開催。
7	浅草エーラウンド	東京・台東区	10月	「革の聖地」である浅草の一面をもっと知ってほしいという工房や地域のお店のみなさんの想いからスタート。革とモノづくりの文化が息づくこの街の魅力をぜひ探索しながら、普段なかなか訪れる機会がない革問屋や製靴工場、個性が際立つ地域の飲食店などを訪問し、職人や店主と触れ合えワークショップ体験や買い物ができる。
8	LEATHER WORLD (レザーワールド)	東京・渋谷区	11月	ブランドのおすすめの逸品や普段はなかなか触ることができない皮革素材の展示のほか、人気クリエイターのワークショップなどを通して、皆さまへ革の素晴らしさを伝えることを目的に、2016年から始まった「レザーワールド」。2022年は渋谷スクランブルスクエアで開催した。

### 3. 日本革データベース・内容（画面）

#### 製革業者が出展している主な展示会・イベントの紹介（海外）

	展示会・イベント名	開催場所	開催時期	内容
1	<b>LINEA PELLE</b> （リネアペレ）	イタリア ミラノ	2月・9月	イタリア・ミラノを中心に年に2回開催される「LINEA PELLE」は、世界中からアパレル、皮革関係のデザイナーやバイヤーが2万人以上集まり、500以上ものタンナリーが参加する文字通り世界最大の革見本市。開催月を替えてニューヨーク、ロンドンでも開催されている。また東京レザーフェアとも協賛関係にある。
2	<b>Premiere Vision</b> （プルミエールビジョン）	フランス パリ	2月・9月	1973年設立の世界の最高峰に位置する服地見本市のこと。フランス・パリで毎年2回(2、9月)開催される。プルミエール・ビジョンの提案するトレンド(カラーや素材感)はファッション業界に大きく影響を及ぼすといわれている。
3	<b>APLF</b> （アジア・パシフィック・ レザーフェア）	香港	3月	APLFはアジアと世界を結ぶ皮革産業の国際展示会で、関連する完成品および素材のサプライヤーやOEM、OEMの委託先を探している企業、ファッション業界で活躍するデザイナーやバイヤーなどにとって見逃せない情報収集の場、重要なビジネスチャンスを創造する出会いの場となっている。
4	<b>MIPEL</b> （ミペル）	イタリア ミラノ	3月・9月	イタリアのミラノで年2回開催され、有名ブランドから新進メーカーまでが参加。約400社のかばんと革雑貨が出品される。約1万5000人ほどの業界関係者が世界各国から訪問する。また、このため新進作家やメーカーの登竜門となっている。時期を同じくして、シューズの国際見本市である「MICAM（ミカム）」も開催される。
5	<b>COTERIE</b> （コーテリー）	アメリカ ニューヨーク	9月	アパレル最大級の展示会であるMAGIC同様にUBM主催で、NY Woman's September という展示会の一部という位置付け。8つのショーにより構成されており、そのうちの1つが女性ファッション、靴、アクセサリーを主に扱っている。

### 3. 日本革データベース・内容（画面）

#### 日本の製革業者が取得するレザー関連の主な認証制度

	認証制度	認証機関	内容
1	<b>JLPタグ (ジャパン・レザー・ プライドマーク)</b>	一般社団法人 日本タンナーズ協会	「JLPタグ」は、日本国内で生産された天然皮革素材であり、消費者に安心してもらえることを目的としたもので、一定のルールのもと、申請許可制度の運用を行なっている。タグを使用できるのは、原皮およびウェットブルーから自社工場にて再鞣しと染色・加脂を行っており、かつ排水処理を適正に行なっている日本のタンナーのみ。使用許可を得たタンナーが原皮およびウェットブルーから自社工場にて再鞣しと染色・加脂を行った革素材を表面積の60%以上に使用し、国内で製造した革製品だけにタグを付けることができる。
2	<b>LWG認証</b>	LWG (LEATHER WORKING GROUP)	LWGの目的は、皮革製造工場に持続可能で適切な環境ビジネスを実行させることにあり、環境の保護と維持が期待されている。環境保護の優先順位と実行可能な基準を作り、それを継続して改善できるようガイドラインに定められている。LWGはイギリスに本部があり、レザーに対する品質や安全性、環境問題等の啓蒙活動を行っている国際団体で、現在では世界的有名ブランドのほとんどが加盟している。ここ数年で LWG に加盟するタンナーやブランドの数が急速に増えており、世界的な主流となっている。
3	<b>日本エコレザー基準認定</b>	一般社団法人 日本皮革産業連合会	2006年にNPO法人 日本皮革技術協会 と一般社団法人 日本タンナーズ協会の協力の下に「日本エコレザー基準 (JES) 」が制定された。エコレザーとは「日本エコレザー基準 (JES) 」に適合し、「製品の製造・輸送・販売・再利用」までの一連のライフサイクルのなかで、環境負荷を減らすことに配慮し、環境面への影響が少ないと認められる革材料のことを指している。また、JESラベルの認定対象は「皮膚断面繊維構造を損なわない革」に限られ、再利用においても革の機能を損なわないことが大前提とされている。

# 3. 日本革データベース・内容（画面）

## ■ データ管理画面

### （開発）日本タンナーズ協会管理システム

#### アンケート管理

- ▶ アンケート一覧
- ▶ アンケート登録
- ▶ アンケートCSV一括登録

#### アンケート

No.	<input type="text"/>	地域分類	指定しない▼
会社名	<input type="text"/>	代表者名	<input type="text"/>

[条件クリア](#)[検索開始](#)[CSVダウンロード](#)

#### アンケート一覧

[新規登録](#)

	No.	地域分類	業種	回答日	会社名	役職	代表者名	表示フラグ
<a href="#">編集</a>	100	6. 川西	製革業	2022/11/01	岡		氏	表示する
<a href="#">編集</a>	99	6. 川西	製革業	2022/11/04				表示する
<a href="#">編集</a>	98	6. 川西	製革業	2022/11/04				表示する
<a href="#">編集</a>	102	6. 川西	製革業	2022/11/08				表示する
<a href="#">編集</a>	101	6. 川西	製革業	2022/11/07				表示する
<a href="#">編集</a>	1	1. 松原	製革業	2022/10/31				表示する
<a href="#">編集</a>	2	1. 松原	製革業	2022/10/28				表示する
<a href="#">編集</a>	3	1. 松原	製革業	2022/10/27	瀬戸		氏	表示する

タンナー名

# 3. 日本革データベース・内容（画面）

## 産地(地域) から探す：検索項目

### 関西

たつの地区（兵庫）

姫路地区（兵庫）

和歌山地区

### 関東

東京地区

埼玉・千葉・栃木・長野地区

## 3. 日本革データベース・内容（画面）

[HOME](#) > [産地\(地域\)](#) から探す > [東京地区](#)

### 東京地区

五十音順で紹介

# 該当するタンナー一覧

# 3. 日本革データベース・内容（画面）

[HOME](#) > 扱っている革種から探す：検索項目

## 扱っている革種から探す：検索項目

[成牛革](#)

[中・小牛革](#)

[豚革](#)

[山羊・羊革](#)

[馬革](#)

[牛床革・豚床革](#)

[鹿革](#)

[その他革](#)

一般社団法人 日本タンナーズ協会  
〒670-0964 兵庫県姫路市豊沢町129番地あさひビル3F  
TEL 079-282-6701  
FAX 079-282-6703

### About

- [協会について](#)
- [会長挨拶](#)
- [革の豆知識](#)
- [協会データ資料](#)

### Member

- [会員情報](#)

### Contact

- [ご利用に関して](#)
- [個人情報保護方針](#)
- [お問い合わせ](#)

### Link

- [リンク](#)



# 3. 日本革データベース・内容（画面）

[HOME](#) > [タンナー名から探す](#) > [山羊・羊革](#)

## 山羊・羊革

五十音順で紹介

# 該当するタンナー一覧

# 3. 日本革データベース・内容（画面）

[HOME](#) > 主な製品用途から探す：検索項目

## 主な製品用途から探す：検索項目

婦人靴・カジュアルシューズ製品

紳士靴・カジュアルシューズ製品

バッグ・革小物製品

アパレル製品

インテリア製品

自動車（カーシート）

スポーツ用品

手袋

その他製品

一般社団法人 日本タンナーズ協会  
〒670-0964 兵庫県姫路市豊沢町129番地あさひビル3F  
TEL 079-282-6701  
FAX 079-282-6703

### About

- 協会について
- 会長挨拶
- 革の豆知識
- 協会データ資料

### Member

- 会員情報

### Contact

- ご利用に関して
- 個人情報保護方針
- お問い合わせ

### Link

- [リンク](#)

# 3. 日本革データベース・内容（画面）

[HOME](#) > [主な製品用途から探す](#) > [アパレル製品](#)

## アパレル製品

五十音順で紹介

# 該当するタンナー一覧

## 3. 日本革データベース・内容（画面）

[HOME](#) > [タンナー名から探す](#)

### タンナー名から探す

五十音順で紹介

### タンナー一覧

# 3. 日本革データベース・内容（画面）

HOME > たつの地区（兵庫） > 株式会社タンナース

## 株式会社タンナース

所在地	〒670-0960 姫路市豊沢町150		
代表者 担当者	代表 姫路太郎 担当 姫路一雄	連絡先	電話番号：079-282-6700 メールアドレス：kazuo@tanners.co.jp URL：http://tanners.or.jp
業種	製革業	取引形態	間接・直接取引両方可
資本金	1億円以上	事業規模	10億-50億円未満
従業員数	50-100人未満		
生産革種	成牛革 中牛革 小牛革	鞣し方法	クロム鞣し 植物タンニン鞣し
原材料の調達国	日本 アメリカ ヨーロッパ	原材料の仕入れ先	尙社
生産キャパシティ	5,000,000デシ以上/年	生産（単位）ロット	半裁5枚から
生産する革の主な製品 用途	婦人靴 紳士靴 カジュアルシューズ バッグ類 革小物 インテリアチェア・ソファ スポーツ用品	主な取引先(販売先)	革問屋 靴・履物メーカー 靴・袋物メーカー アパレルメーカー インテリア製品メーカー スポーツ用品メーカー
生産・デリバリー面 の特徴	生産面の環境対応 サンプル対応可 別注対応可	仕上がった革の強弱点	耐久性 風合い 耐水性 通気性
開催している展示会及び 出展展示会について	自社展示会の開催 3,7月頃 東京レザーフエアへの出展 海外展示会に出展している リニアベル、APLF ファッション関連の展示会に出展している 素材エキスポ	情報発信手段	HP SNSの活用 自社展示会
取得している認証制度	日本エコレザー基準認定 JLPタグ使用許可		
自社の特徴	自社工場における原皮から製品までの一貫生産。全てを自社で行っている分、トレーサビリティには自信があります。ピット槽での植物タンニンなめしを行っています。		

---

## 4. 提言

# 4. 提言

---

## 1. プレスリリースを活用する

日本の製革産業や製革業者の特徴、良さについては、製革業界内では理解できているが、肝心の需要側がどこまで理解しているのか、また業界の活動についてもどこまで認知されているのか、これまではその効果もわからないままで、様々な活動を進めていた。

幅広く認知させるためには、やはりメディアの活用は必須であり、費用が掛からないプレスリリースを活用することは最低限の戦略である。もちろん費用が掛からない分、メディアサイドが取り上げてくれるかどうかは確約されないが、そのために纏めた文面は特定の業界や企業に伝える際に活用できるため、何らかの活動や調査などを行なった際には、必ずプレスリリースを作成しておくことが大事となる。

## 2. 日本のタンナーが幅広く対応している革をアピールする

日本の製革産業の中心となっているのは「成牛革」を中心とする「牛革」であるが、それ以外にも量的に少数であっても様々ななめし革を生産している。製品メーカー側はそのことを知らない企業も多いと思われる。こうした様々なめし革を生産している実態を製品メーカー側に伝える、また世間的にアピールすることが、日本の製革産業において、非常に重要なポイントとなる。

同時にその用途についてもしっかりとアピールしておく必要がある。特にファッション関連製品以外の用途については、世間的に知られていないと思われる。スポーツ用品や太鼓の革、剣道具の革など、盲点となっているような革が実際に日本の革で生産されていることは、日本革のイメージアップにも繋がっていく。

## 4. 提言

### 3. なめし革以外の副産物もクローズアップする

日本の製革産業が様々な革を作っていることに加え、鞣し工程から得られる副産物（ゼラチン、コラーゲンなど）に関しても、産業の特徴として取り上げておく必要がある。もちろんこれらを生産しているタンナーは多くはないが、どちらかという化学分野に通じる商品の製造を行なっていることは、業界の違った一面をみせることにもなり、業界のイメージとして、これまでとは違った印象を与えることになる。

特にこのことは、製品メーカーだけではなく、世間一般的にアピールすることで、様々な誤解を招いている業界のイメージを変える可能性があり、色々な産業に使ってもらえるこうした商品が生産している業界でもあるということをしっかりと伝えていきたい。

### 4. 日本ならではの技法やその効果をアピールする

特に海外の革との差別化を図る上で重要な点として、日本の製革産業がこだわりを持って行なっているなめし技法を前面に打ち出すことも重要である。その際には当然それによる効果も合わせて紹介することも必須である。

日本の製品メーカーにおいて、海外革の革が多く使われているのは事実であり、製品の生産拠点が多くは海外にあることや、コスト面の優位性があるため、日本革としては、如何に海外革との差別化を図るかは大きな課題となっている。その点を考慮すると、日本の製革産業ならではの技法をしっかりと伝え、それによってどのような効果や差別化ができていくのかを伝えることが重要と思われる。



## 4. 提言

---

### 5. Web上でタンナーと製品メーカーの意見・情報交換の場を作る

タンナーと製品メーカーの接点は未だ少なく、タンナーの情報を製品メーカーがあまり知らない点はこれまでもクローズアップしてきたが、逆に製品メーカーのニーズや情報をタンナー側が知らないということも事実である。タンナーは問屋を介してのビジネスが多く、接点の機会が少ないことや、数少ない接点の場である東京レザーフェアなどでも、タンナー側が来訪者である製品メーカーから情報を得る場となり得ていないこと、またタンナーが多い関西とメーカーが多い関東の間で距離があり、タイムリーな要求に対応出来ないこと等、検討すべき点はこれまでの調査からも多く指摘された点である。

その為にはやはり交流の場、接点を改めて作り必要があり、その為にも今回のデータベースに付帯する形で、製品メーカー側からの要望、また意見・情報を交換するプラットフォームをWeb上で構築する必要があると考える。次年度以降、データベースを充実させるためにも、そうした交流の場をWeb上で作っていくことは早急な検討事項と言えよう。

---

## 5. 附表：アンケート表

# 5. アンケート表

令和4年度・情報収集事業

## 国産皮革需要拡大に向けたデータベース製作に伴うアンケート調査

<ご回答のお願い・注意事項について>

- ・全ての設問にお答え下さい。
- ・データベースには、アンケートで選択した回答がそのまま表示されます。
- ・回答に不明な点ございましたら、下記の担当者に御連絡下さい。

<調査担当> クルーシャルモーメント(株) 池内  
Mobile : 080-4343-3982  
Email : nikeuchi1110@c-moment.jp

一般社団法人 日本タンナーズ協会

情報収集委員会

## 国産革需要拡大に向けたデータベース製作に伴うアンケート調査

私は、一般社団法人日本タンナーズ協会が実施する国産革需要拡大に向けた公開データベース作りに賛同し、データベースに本アンケートの記載内容を掲載することを承諾いたします。

令和 4年 月 日

会社名 \_\_\_\_\_

役職・代表者名（自署） \_\_\_\_\_

Q1. 貴社の所在地をお書きください

郵便番号：(〒 )

所在地：( )

Q2. 貴社の対応窓口・担当者名をお書きください

対応窓口 :

担当者名 : ( )

電話番号 : ( )

メールアドレス：( )

Q3. 貴社の取引形態をお選び下さい。

① 問屋、商社経由（間接）取引のみ

② 直接取引のみ

③ 間接・直接取引両方可

※取引に追加条件がある場合はこちらにお書きください。

( )

Q4. 貴社のHPはございますか？ありましたらそのURLをお書きください

1. 有り⇒URL：( )

2. 無し

Q5. 貴社の資本金をお選びください。（法人企業のみ回答）

① 100万円未満

② 100-500万円未満

# 5. アンケート表

- ① 500-1000 万円未満
- ② 1000-5000 万円未満
- ③ 5000-1 億円未満
- ④ 1 億円以上

Q6. 貴社の事業規模をお選びください。

- ① 1000 万円未満
- ② 1000-5000 万円未満
- ③ 5000-1 億円未満
- ④ 1-5 億円未満
- ⑤ 5-10 億円未満
- ⑥ 10-50 億円未満
- ⑦ 50 億円以上

Q7. 貴社の従業員数をお選びください

- ① 5 人未満
- ② 5-10 人未満
- ③ 10-50 人未満
- ④ 50-100 人未満
- ⑤ 100 人以上

Q8. 貴社が扱っている生産革種について、下記から扱っている革種全てをお選びください。

(複数回答可)

- ① 成牛革
- ② 中牛革
- ③ 小牛革
- ④ 豚革
- ⑤ 羊革
- ⑥ 山羊革
- ⑦ 馬革
- ⑧ 鹿革
- ⑨ 牛床革
- ⑩ 豚床革
- ⑪ エキゾチックレザー
- ⑫ カンガルー革
- ⑬ バッファロー革
- ⑭ その他 ( )

Q9. 貴社が行なっている鞣し方法について、行なっているもの全てを下記からお選びください  
(複数回答可)

- ① クロム鞣し
- ② 植物タンニン鞣し
- ③ アルデヒド鞣し
- ④ 複合鞣し
- ⑤ その他 ※得意とする鞣し方法を差し支えない範囲でお教え下さい  
( )

Q10. 貴社の原材料(原皮・WB・クラスト等)の調達国について、該当する国を下記から全て  
お選び下さい。(複数回答可)

- ① 日本
- ② アメリカ
- ③ 中国
- ④ 東アジア
- ⑤ 中南米
- ⑥ 東南アジア
- ⑦ 西アジア(パキスタン・バングラデシュ・インドなど)
- ⑧ 中東
- ⑨ アフリカ
- ⑩ その他国 ( )

Q11. 貴社の原材料の仕入れ先につきまして、該当する仕入れ先を全てお選びください。

(複数回答可)

- ① 原皮商
- ② 商社
- ③ 現地直接買付
- ④ その他 ( )

Q12. 貴社の生産キャパシティを下記からお選びください。

- ① 200,000 デシ以下/年
- ② 200,000 デシ~500,000 デシ/年
- ③ 500,000 デシ~1,000,000 デシ/年
- ④ 1,000,000 デシ~1,500,000 デシ/年
- ⑤ 1,500,000 デシ~2,000,000 デシ/年
- ⑥ 2,000,000 デシ~2,500,000 デシ/年
- ⑦ 2,500,000 デシ~3,000,000 デシ/年
- ⑧ 3,000,000 デシ~5,000,000 デシ/年

# 5. アンケート表

① 5,000,000 デシ以上/年

Q13. 貴社の生産（最低）ロットをお書きください  
( ) 枚から

Q14. 貴社が生産する革の主な製品用途について、該当するもの全てを下記からお選びください  
(複数回答可)

- ① 婦人靴
- ② 紳士靴
- ③ カジュアルシューズ
- ④ バッグ類
- ⑤ 革小物
- ⑥ 紳士服（コート・ジャケット・パンツなど）
- ⑦ 婦人服（コート・ジャケット・スカートなど）
- ⑧ インテリアチェア・ソファ
- ⑨ カーシート
- ⑩ スポーツ用品
- ⑪ 手袋
- ⑫ その他（ ）

Q15. 貴社の主な取引先（販売先）について、該当する取引先を下記から全てお選びください。  
(複数回答可)

- ① 革問屋
- ② 生地問屋
- ③ 商社
- ④ 靴・履物メーカー
- ⑤ 鞆・袋物メーカー
- ⑥ アパレルメーカー
- ⑦ インテリア製品メーカー
- ⑧ スポーツ用品メーカー
- ⑨ 自動車メーカー
- ⑩ 海外のファッションブランドメーカー
- ⑪ その他（ ）

Q16. 貴社の生産革の特徴（売り）について、該当するもの全てを下記からお選びください。  
(複数回答可)

<生産・デリバリー面の特徴について>  
① 納期は厳守できる

- ① 仕上げの安定性には自信がある
- ② 生産面では環境に配慮できている
- ③ サンプル対応は可能である
- ④ 別注対応は可能である
- ⑤ エコレザー（JES 認定）を生産している
- ⑥ ドライタンを扱っている

<仕上がった革の特徴について>

- ① 発色の良さ
- ② 耐久性
- ③ 風合い
- ④ 高級感
- ⑤ 耐水性
- ⑥ 通気性
- ⑦ 伸縮性
- ⑧ 処分品を自然に帰すことが出来るなどの機能性
- ⑨ 軽さ
- ⑩ その他（ ）

Q17. 貴社が出展、及び行なっている展示会・イベントなどについて、出展している、行なっているもの、該当するもの全て下記からお選びください。団体や組合など地域単位のブース参加も対象です。(複数回答可)

- ① 自社展示会の開催（ ）月頃
- ② 東京レザーフェアへの出展
- ③ 地域で開催しているフェアへの出展
- ④ 他社と共同で展示会を開催している
- ⑤ 海外展示会に出展している→展示会名（ ）
- ⑥ ファッション関連の展示会に出展している→展示会名（ ）
- ⑦ その他（ ）
- ⑧ 出展していない・開催していない

Q18. 貴社の情報発信手段について、行なっているもの全て下記からお選びください。  
(複数回答可)

- ① HP
- ② メルマガ・DM など
- ③ SNS の活用
- ④ 自社展示会
- ⑤ 広告の出稿

# 5. アンケート表

- ① キャンペーンなどの実施
- ② その他 ( )
- ③ 特に行なっていない

Q19. 貴社が取得している認証制度について、該当するもの全てを下記からお選び下さい。

(複数回答可)

- ① LWG 認証
- ② 日本エコレザー基準認定
- ③ JLP タグ使用許可
- ④ その他 ( )
- ⑤ 取得しているものはない

Q20. その他自社の特徴（実績・他社との違いなど）について自由にお書きください

[ ]

Q21. 最後に、取引について貴社のご希望・要望等がございましたらご自由にお書きください。

[ ]

以上です。ご協力有り難うございました。